

第1章

交通の現状と課題

第1章 交通の現状と課題

1-1 富谷市の交通をとりまく社会経済情勢

(1) 人口動向

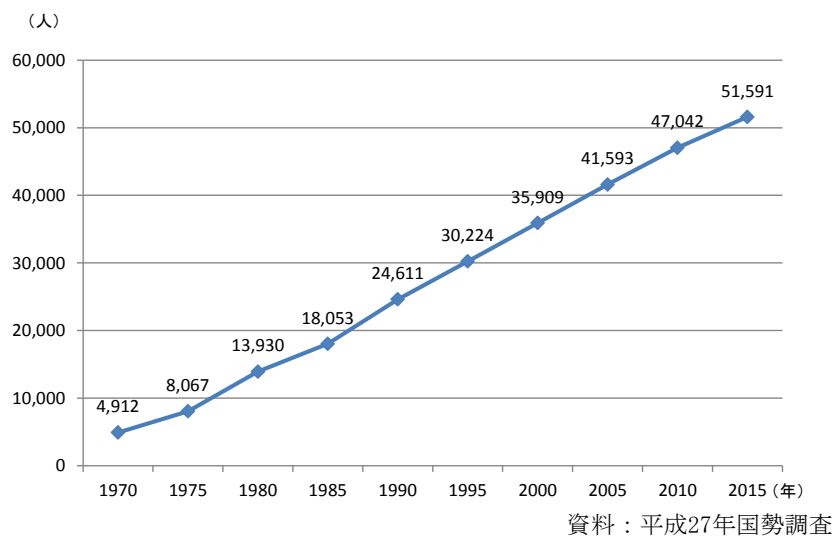
① 総人口

総人口は、1970年（昭和45年）と比べて2015年（平成27年）は10倍以上に増加し、直近の5年間で増加が見られます。

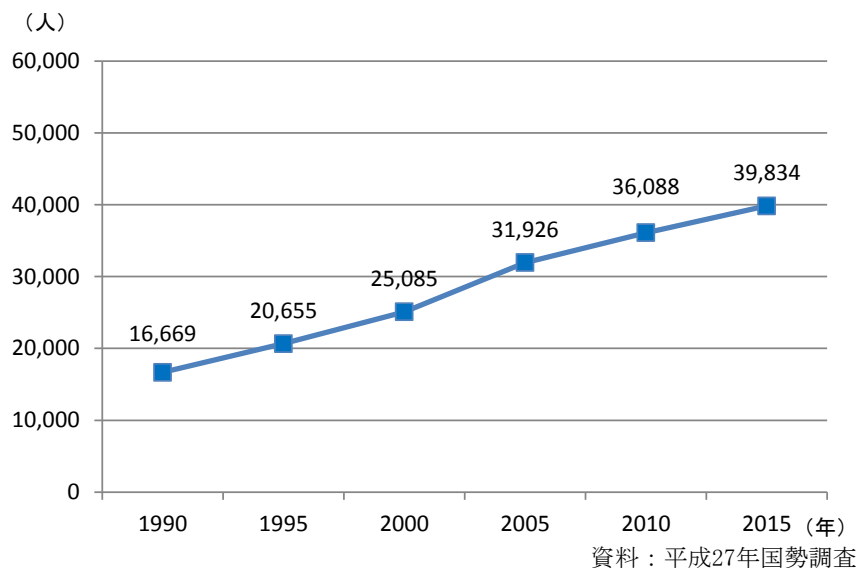
なお、昼間人口^{*1}も増加傾向にあり、2015年（平成27年）時点で39,834人です。

*1：昼間人口
常住人口＋流入人口－流出人口

＜富谷市の総人口（夜間人口）の推移＞



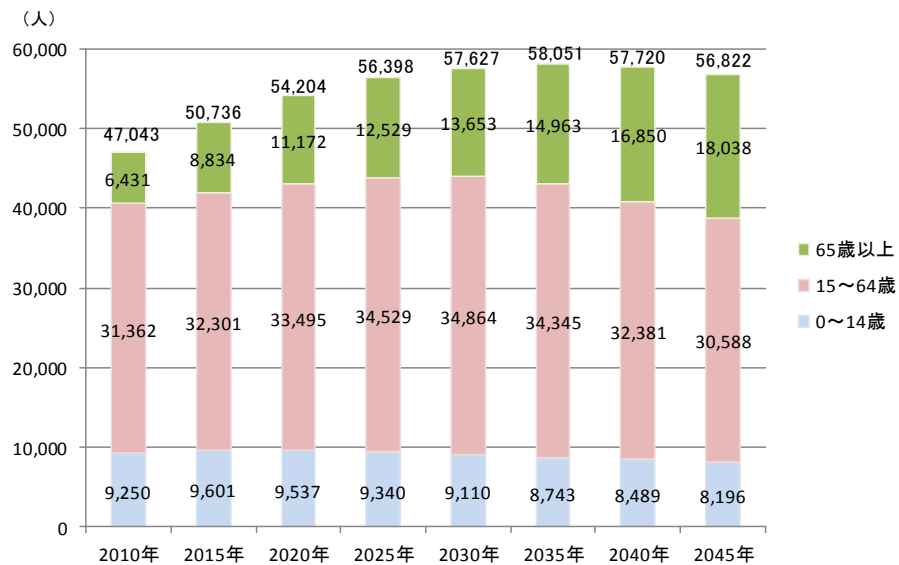
＜富谷市の昼間人口の推移＞



国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、富谷市が東北6県で唯一、人口増加が続き、2045年時点では56,822人の見込みです。

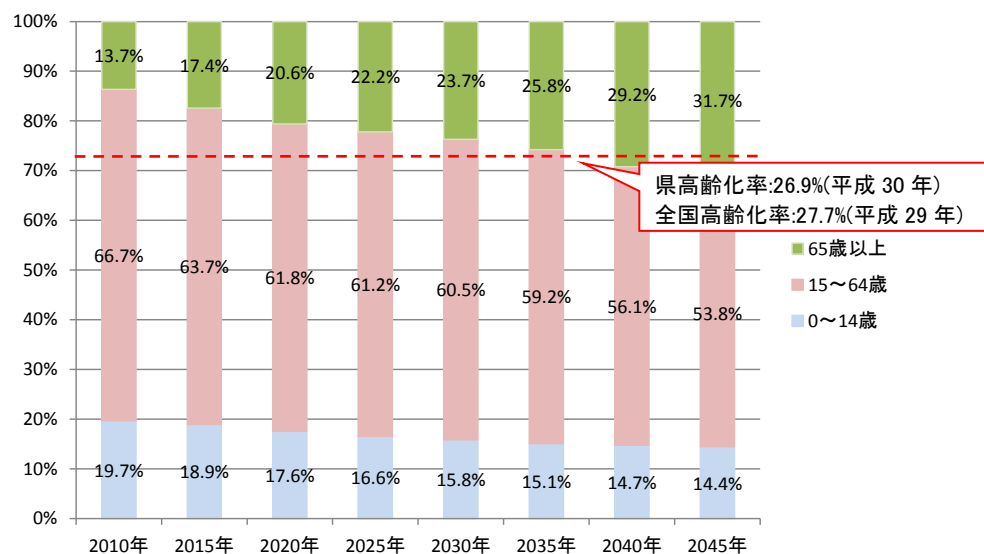
年齢別人口をみると、若年人口（15歳未満の人口）は、2015年（平成27年）頃がピークで、2045年には8,196人まで減少します。生産年齢人口（15～64歳人口）は2030年ごろまで増加し続け、2040年には30,588人となっています。高齢人口（65歳以上の人口）は増加し続け、2045年には18,038人となり、人口比率の約3割を占め、現状の2倍程度の人口規模となる見込みとなります。

＜年齢別の将来人口の推移＞



資料：将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所（平成30年））

＜年齢別の将来人口比率の推移＞

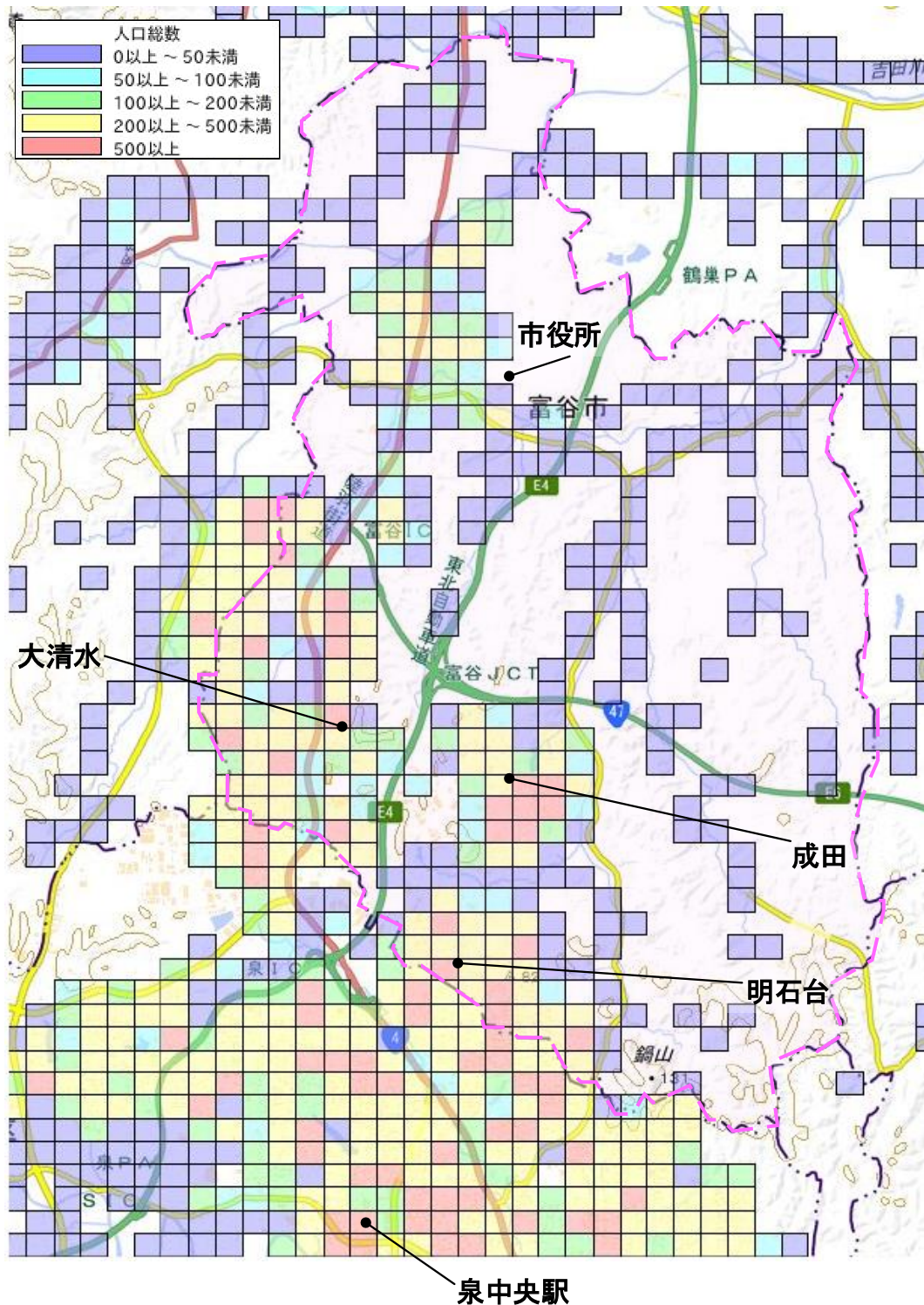


資料：将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所（平成30年））

地域メッシュ統計を用いて、市内における人口分布をみると、大清水地区や明石台地区、成田地区など市域の南部地域に特に集中していることがわかります。北部地域では、国道4号や県道沿いで人口の集中がみられます。

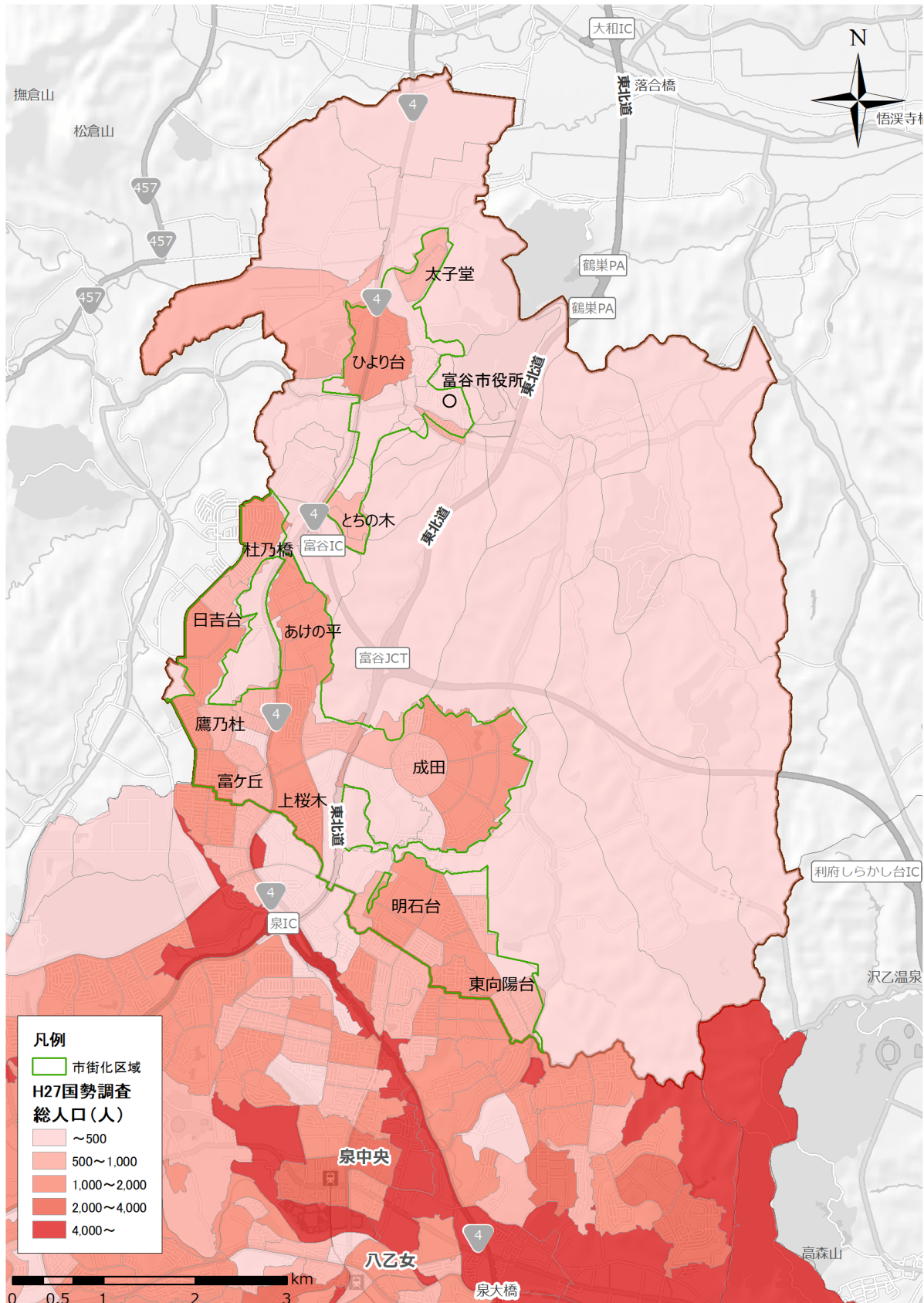
平成27年度の国勢調査による町字別人口分布からは、人口密度の高い地域が市街化区域とほぼ一致していることがわかります。

<メッシュ別夜間人口（250mメッシュ）>



資料：平成27年国勢調査

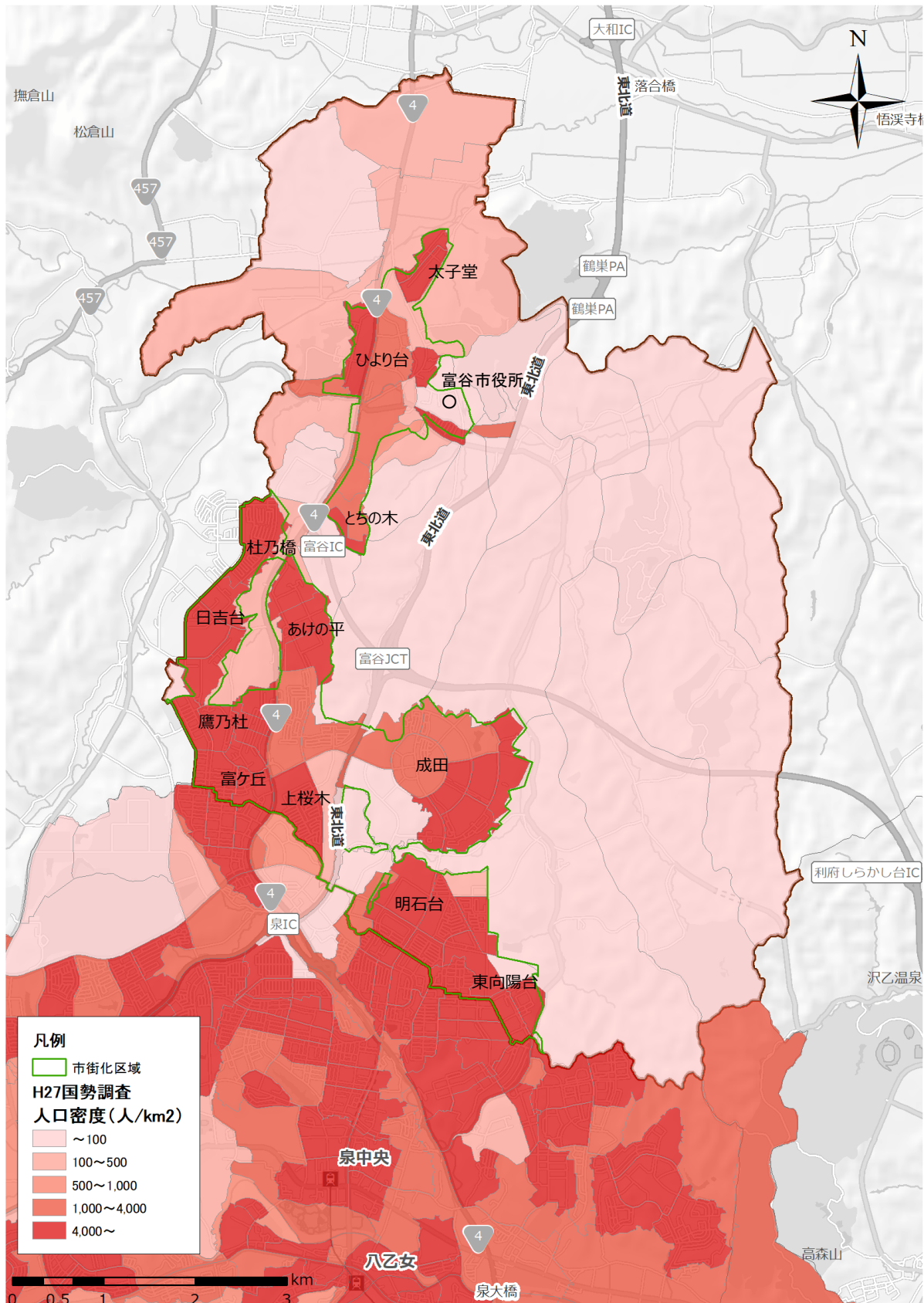
<富谷市周辺の町丁字別総人口>



注) 富谷市および仙台市域のみ図示

資料：平成 27 年国勢調査

＜富谷市周辺の町丁字別人口密度＞

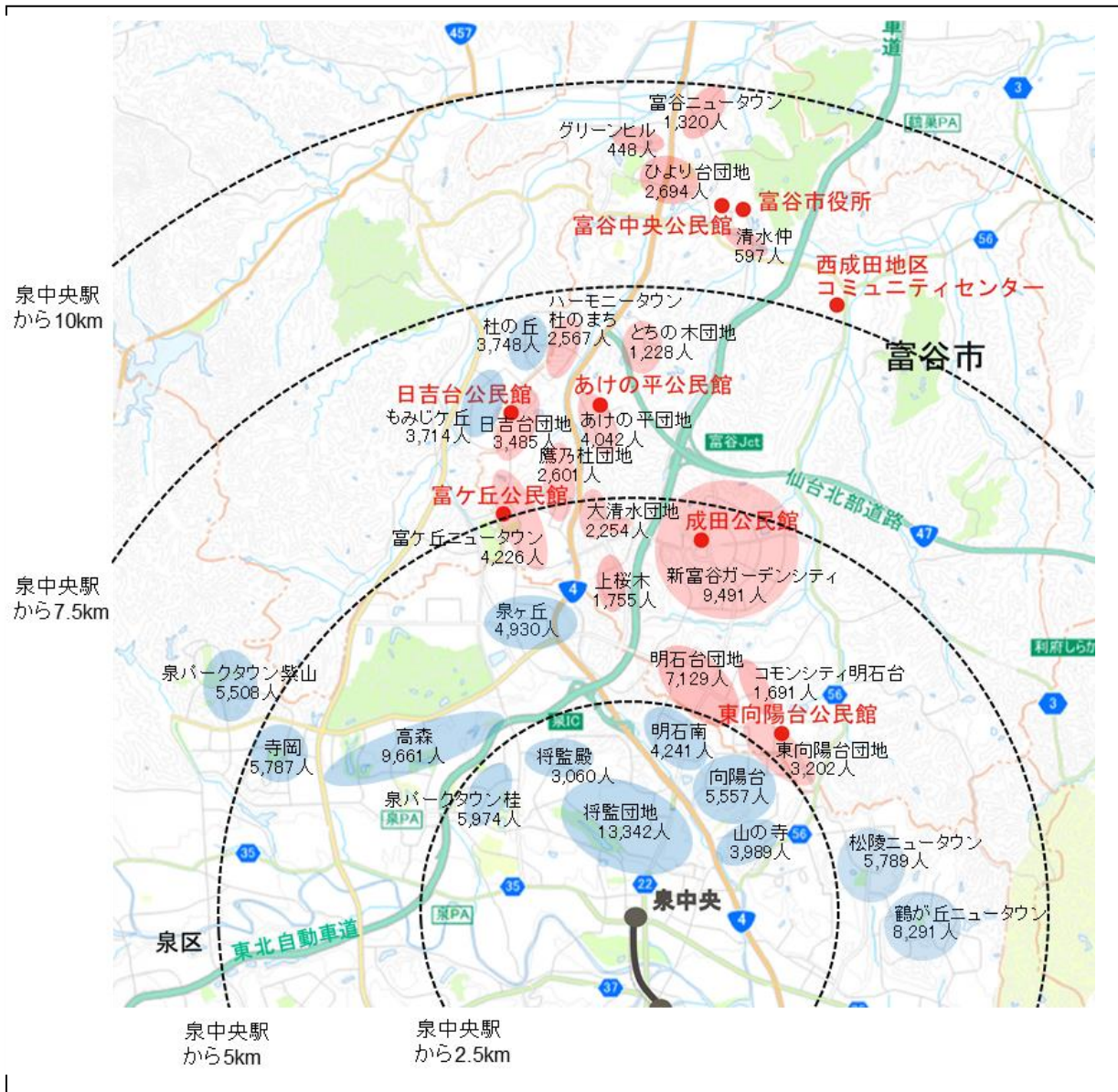


注) 富谷市および仙台市域のみ図示
 凡例の人口密度 4,000 人/km² は、DID (人口集中地区) 相当となる

資料：平成 27 年国勢調査

住宅団地別人口をみると、市内では、新富谷ガーデンシティ（成田地区）が約9,500人と最も多く、次いで明石台団地・コモンシティ明石台（明石台地区）が約8,800人、富ヶ丘ニュータウン（富ヶ丘地区）が約4,200人、あけの平団地がそれぞれ約4,000人となっています。

<住宅団地別人口>

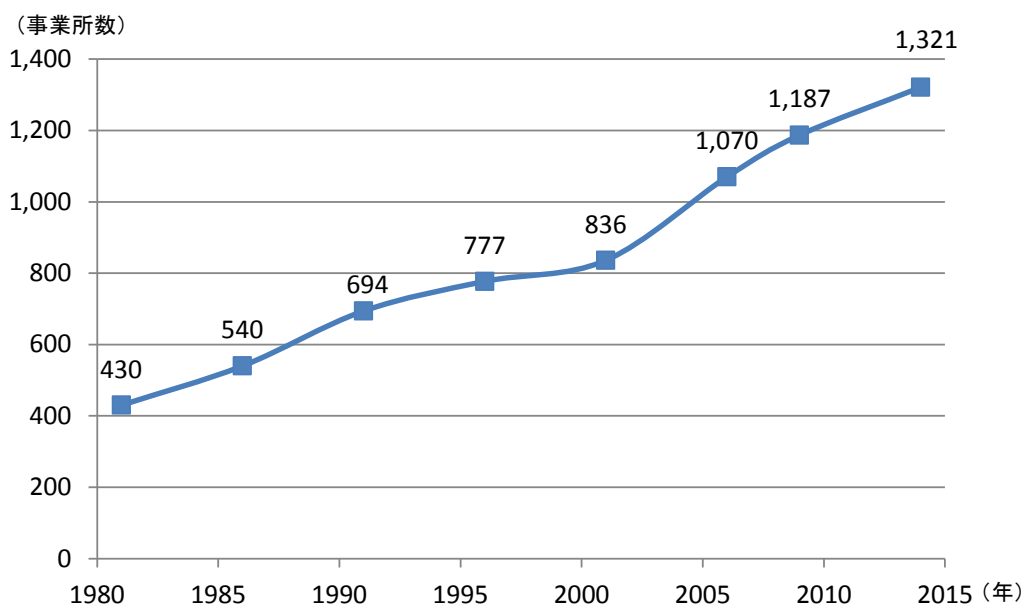


注) 富谷市は平成 31 年 2 月末、仙台市泉区は平成 31 年 10 月 1 日、大和町は平成 31 年 2 月末時点の人口を集計
出典：各市町住民基本台帳

② 事業所数・従業者数

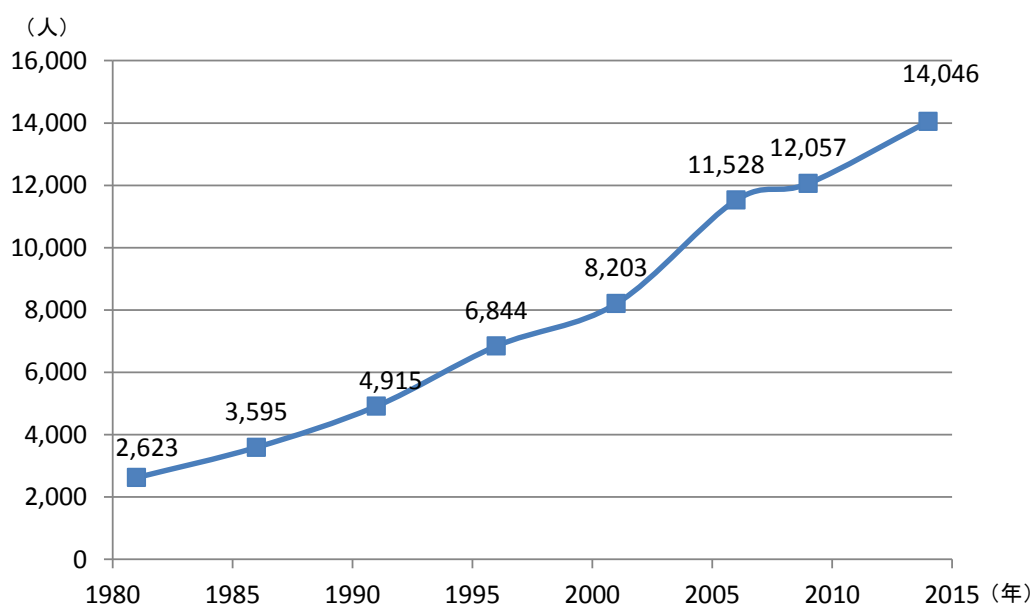
全産業の事業所数は、1981年（昭和55年）と比較して、2015年（平成27年）は、3倍以上に増加しています。また、全産業の従業者数は1981年（昭和55年）と比較して、2015年（平成27年）は5倍以上に増加しています。

＜富谷市の事業所数の推移＞



資料：事業所・企業統計調査、経済センサス（基礎調査）

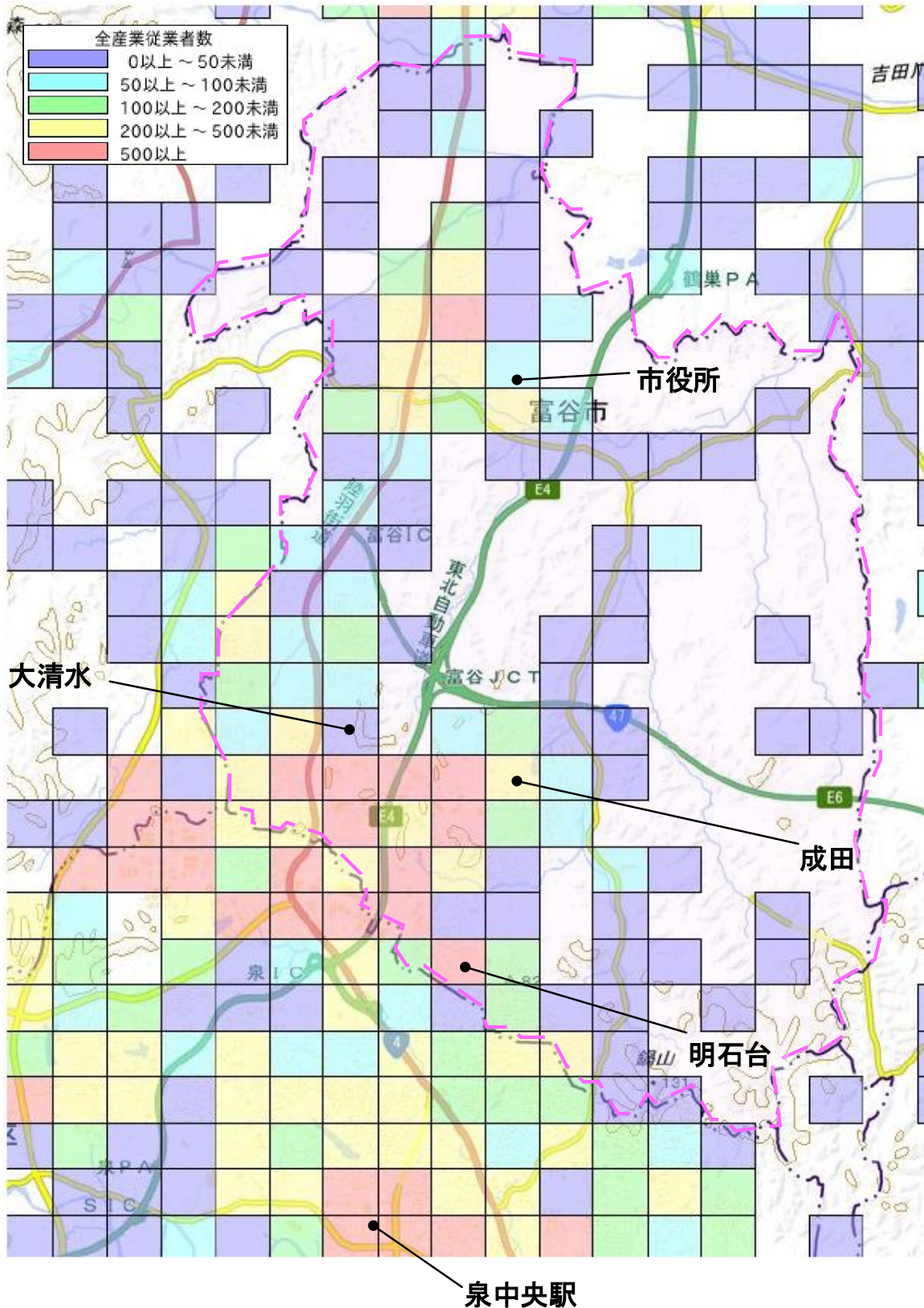
＜富谷市の従業者数の推移＞



資料：事業所・企業統計調査、経済センサス（基礎調査）

従業者数は主に、成田地区、大清水地区、明石台地区周辺に多く集中しています。

<富谷市周辺のメッシュ別従業者数（500mメッシュ）>



資料：平成26年度経済センサス（基礎調査）

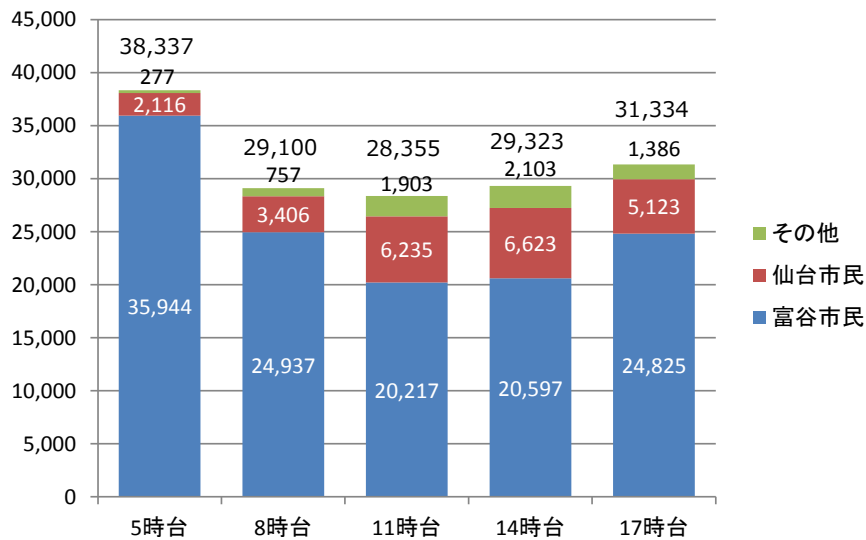
③ 人口動態

「モバイル空間統計」による富谷市内の滞留人口（15歳～79歳）は、平日の昼間に2割程度減少しています。【時間帯を細分化した詳細な分析を引き続き、実施予定。】

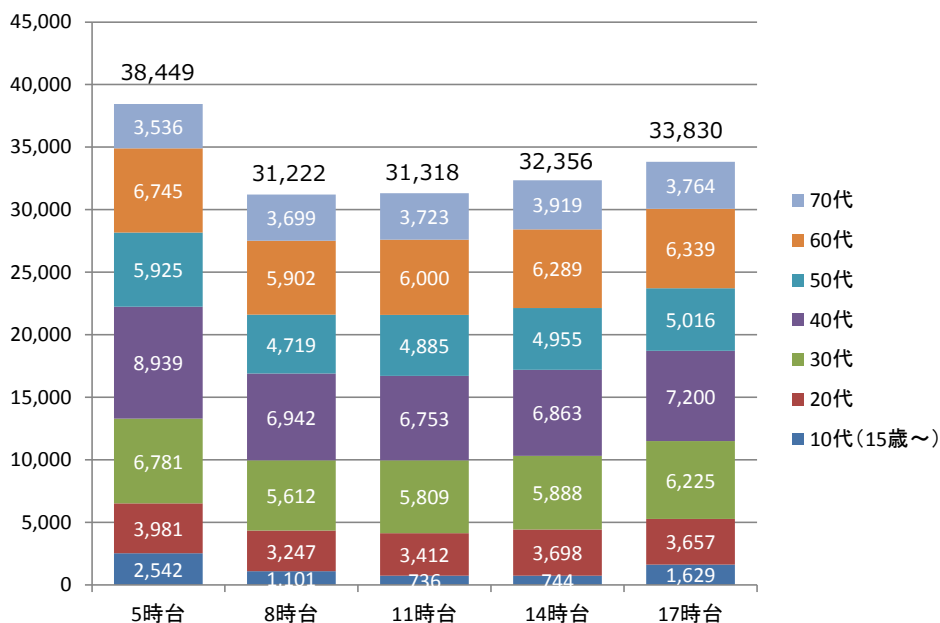
居住地別では、昼間に仙台市からの流入が一定程度みられるものの、富谷市からの流出が上回っています。富谷市民の滞留人口に着目すると、午前中に約16,000人程度（うち、8時台までで11,000人程度）が仙台市に流出しているものと推定されます。

年齢別でみると、10代（15歳～）では昼間の滞留人口が3割程度となり、20代～60代では8割程度となります。

＜居住地別・時間帯別滞留人口（15～79歳）2017年10月18日（水）＞



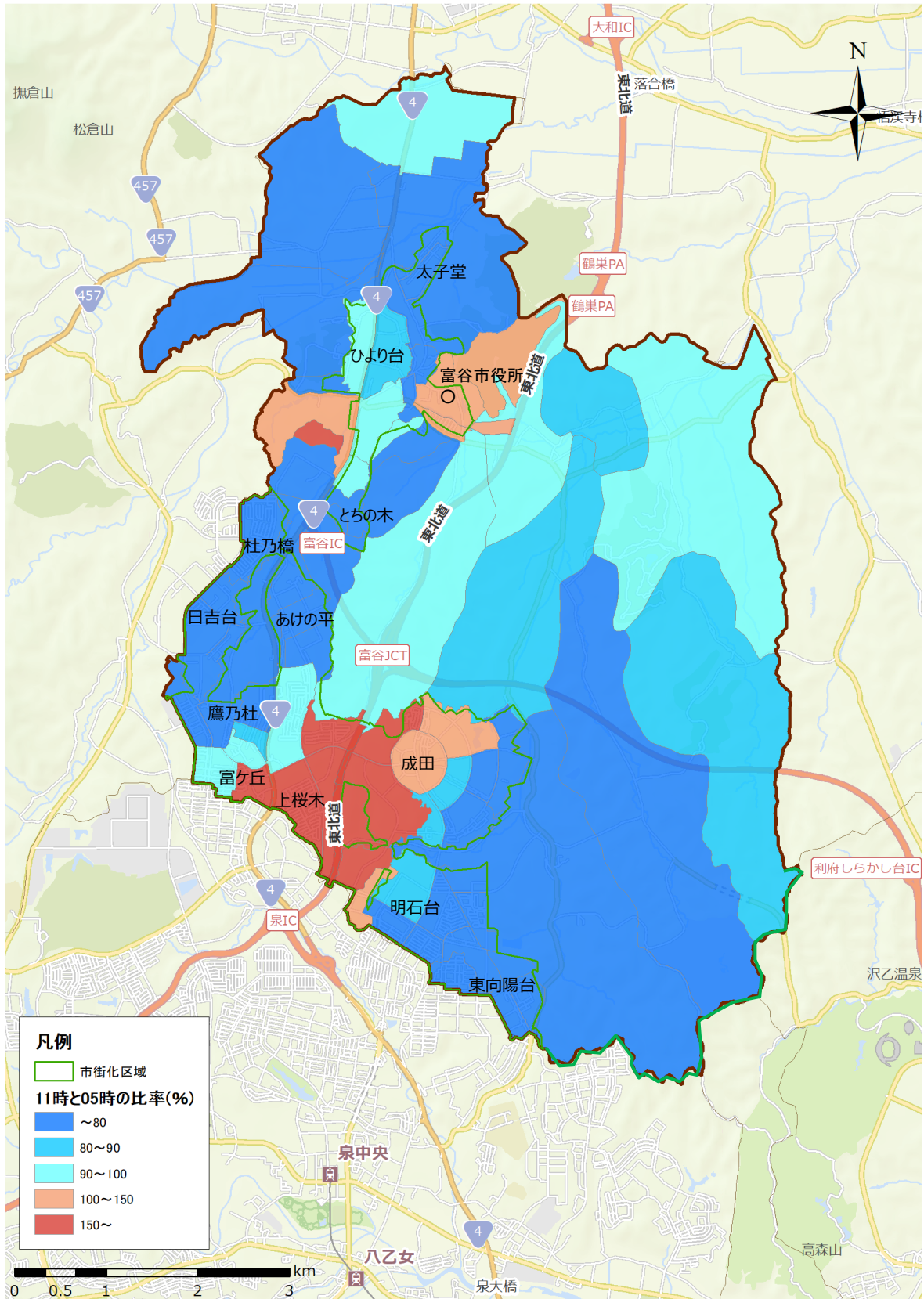
＜年齢別・時間帯別滞留人口（15～79歳）2017年10月18日（水）＞



資料：モバイル空間統計（NTT ドコモ）

<11時台のエリア別昼夜間人口比（15～79歳）2017年10月18日（水）>

※富谷市外居住者含む



資料：モバイル空間統計（NTT ドコモ）

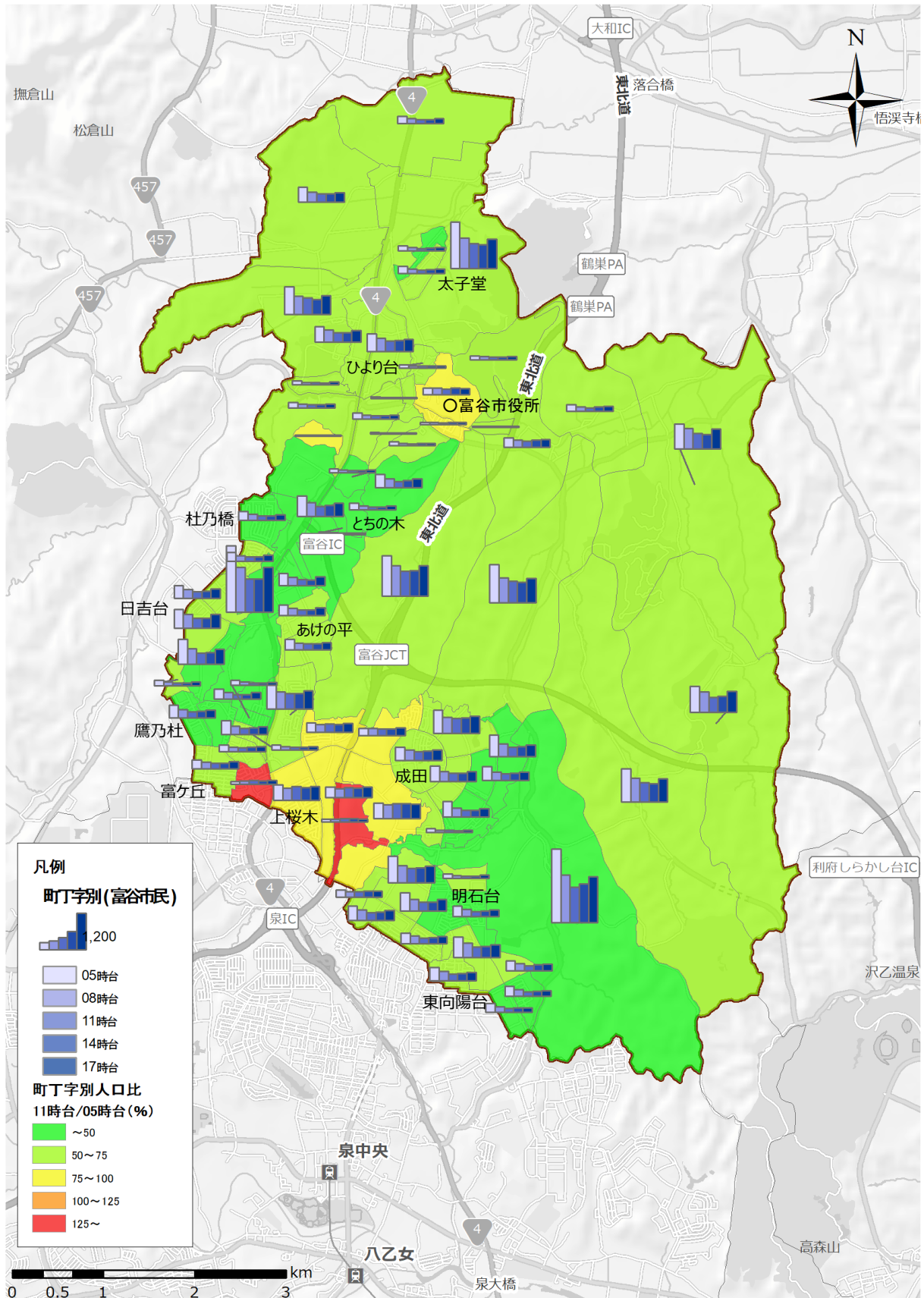
＜時間帯別エリア別の昼夜間人口比＞

	8時台/5時台	11時台/5時台	14時台/5時台	17時台/5時台
富ヶ丘1丁目	114%	161%	161%	156%
富ヶ丘2丁目	102%	93%	100%	100%
富ヶ丘3丁目	86%	77%	80%	81%
富ヶ丘4丁目	81%	68%	72%	73%
鷹乃杜1丁目	88%	95%	113%	105%
鷹乃杜2丁目	81%	81%	96%	96%
鷹乃杜3丁目	78%	57%	53%	76%
鷹乃杜4丁目	76%	57%	53%	76%
富谷字源内	73%	62%	61%	77%
富谷字仏所	64%	79%	66%	75%
富谷字一枚沖	85%	116%	114%	103%
富谷字町	81%	92%	94%	93%
富谷字湯船沢	87%	97%	101%	91%
富谷字日渡	137%	211%	200%	148%
富谷字栃木沢	81%	73%	76%	81%
富谷字原下	70%	69%	72%	67%
富谷字狸屋敷	123%	138%	150%	131%
富谷字西沢	80%	75%	83%	71%
富谷字清水沢	79%	92%	94%	83%
富谷字宮ノ沢	83%	78%	86%	81%
富谷字清水仲	116%	132%	141%	129%
富谷字奈良木沢上	106%	131%	117%	106%
富谷字原前北	93%	92%	103%	101%
富谷字根崎沢	80%	59%	74%	77%
富谷字桜田	97%	112%	109%	109%
富谷字唐竹沢	79%	70%	68%	81%
一ノ関	78%	78%	78%	82%
二ノ関	80%	72%	82%	79%
三ノ関	78%	72%	68%	75%
太子堂1丁目	77%	62%	72%	75%
太子堂2丁目	72%	55%	60%	72%
志戸田	91%	96%	76%	94%
穀田	91%	91%	99%	96%
大童	81%	81%	91%	91%
今泉	102%	91%	88%	97%
大亀	92%	84%	91%	98%
石積	88%	80%	80%	87%
明石	144%	281%	269%	187%
明石	74%	63%	66%	75%
西成田	76%	81%	81%	85%
東向陽台1丁目	77%	62%	67%	71%
東向陽台2丁目	76%	60%	66%	70%
東向陽台3丁目	78%	63%	65%	69%
あけの平1丁目	71%	59%	59%	81%
あけの平2丁目	68%	59%	68%	81%
あけの平3丁目	63%	70%	70%	80%
ひより台1丁目	89%	90%	90%	91%
ひより台2丁目	84%	83%	85%	81%
日吉台1丁目	67%	51%	59%	68%
日吉台2丁目	79%	66%	62%	86%
日吉台3丁目	79%	68%	69%	84%
明石台1丁目	75%	61%	64%	69%
明石台2丁目	79%	69%	70%	80%
明石台3丁目	79%	77%	80%	86%
明石台4丁目	100%	128%	133%	121%
明石台5丁目	77%	84%	87%	86%
明石台6丁目	71%	63%	64%	73%
明石台7丁目	70%	60%	60%	69%
明石台8丁目	80%	61%	70%	74%
明石台9丁目	69%	64%	56%	75%
成田1丁目	91%	119%	128%	130%
成田2丁目	131%	151%	165%	164%
成田3丁目	77%	109%	115%	114%
成田4丁目	68%	83%	82%	86%
成田5丁目	66%	70%	73%	77%
成田6丁目	61%	51%	58%	59%
成田7丁目	59%	54%	52%	63%
成田8丁目	75%	85%	90%	81%
成田9丁目	131%	199%	209%	168%
とちの木1丁目	70%	52%	57%	66%
とちの木2丁目	69%	54%	57%	64%
上桜木1丁目	101%	165%	163%	144%
上桜木2丁目	112%	188%	190%	165%
杜乃橋1丁目	72%	66%	61%	74%
杜乃橋2丁目	77%	62%	63%	67%
大清水1丁目	79%	94%	95%	98%
大清水2丁目	108%	154%	156%	145%

資料：モバイル空間統計（NTT ドコモ）

<富谷市民の町丁字別滞留人口（15～79歳）2017年10月18日（水）>

※富谷市民のみ



資料：モバイル空間統計（NTT ドコモ）

＜時間帯別エリア別の人口密度(人/km2)＞

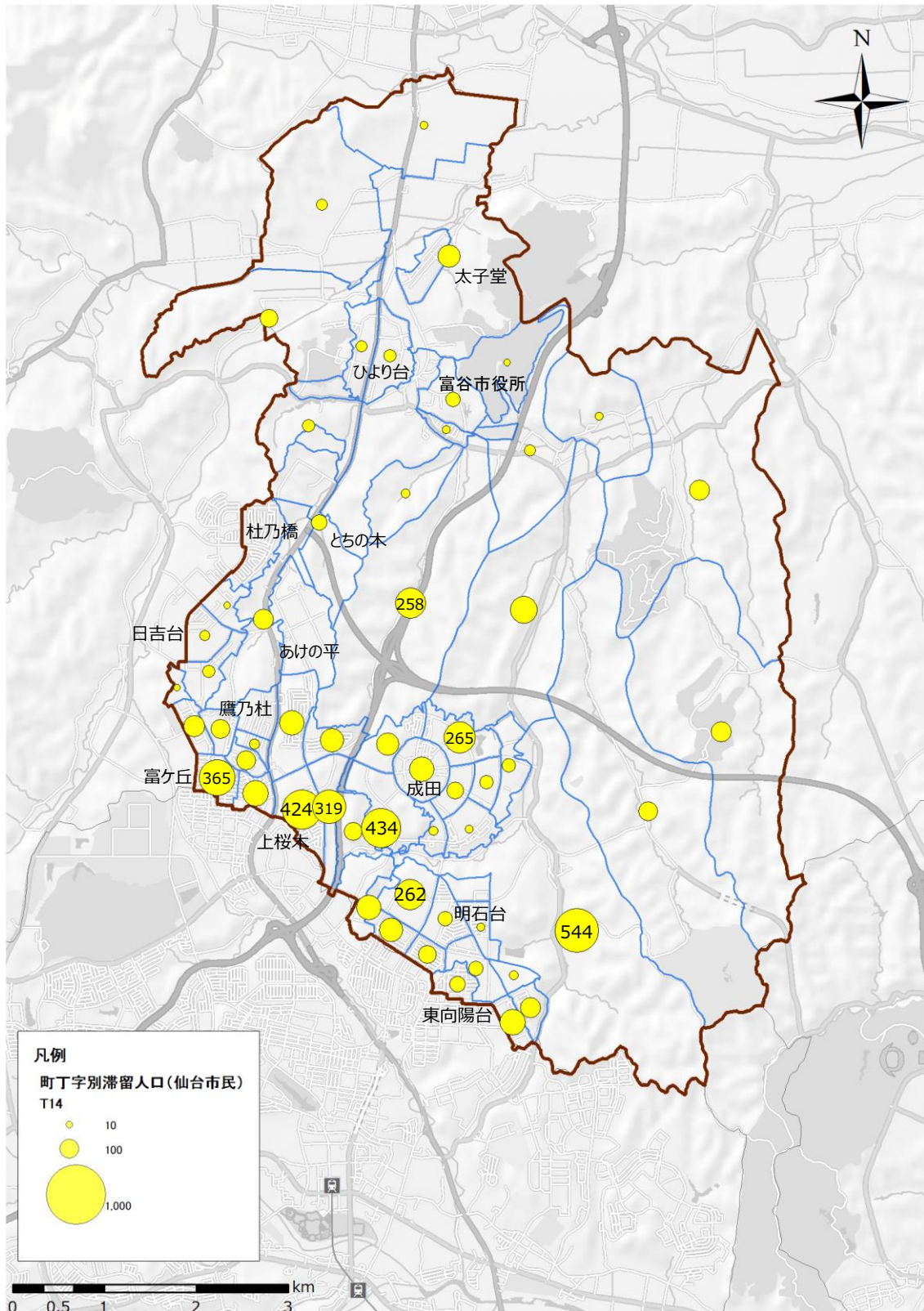
	5時台	8時台	11時台	14時台	17時台
富ヶ丘1丁目	1,453	1,661	2,343	2,337	2,261
富ヶ丘2丁目	3,138	3,189	2,907	3,123	3,123
富ヶ丘3丁目	3,584	3,095	2,747	2,882	2,910
富ヶ丘4丁目	3,658	2,954	2,501	2,634	2,675
鷹乃杜1丁目	2,570	2,250	2,435	2,910	2,687
鷹乃杜2丁目	2,292	1,850	1,864	2,196	2,209
鷹乃杜3丁目	2,397	1,868	1,366	1,282	1,812
鷹乃杜4丁目	2,511	1,902	1,443	1,331	1,917
富谷字源内	2,698	1,962	1,671	1,647	2,065
富谷字仏所	1,092	701	864	725	815
富谷字一枚沖	355	300	411	406	367
富谷字町	652	526	597	614	604
富谷字湯船沢	1,168	1,016	1,134	1,185	1,058
富谷字日渡	267	365	563	533	395
富谷字栃木沢	872	707	635	663	704
富谷字原下	790	557	544	570	531
富谷字狸屋敷	627	769	868	941	819
富谷字西沢	1,104	883	825	912	787
富谷字清水沢	644	511	596	608	535
富谷字宮ノ沢	670	555	525	575	545
富谷字清水仲	883	1,023	1,162	1,244	1,139
富谷字奈良木沢上	222	236	292	260	235
富谷字原前北	260	242	239	269	262
富谷字根崎沢	805	647	473	597	619
富谷字桜田	564	548	631	614	614
富谷字唐竹沢	3,084	2,431	2,157	2,097	2,492
一ノ関	545	426	425	424	445
二ノ関	279	223	201	229	221
三ノ関	668	521	480	453	502
太子堂1丁目	1,895	1,467	1,184	1,360	1,421
太子堂2丁目	1,594	1,143	882	962	1,153
志戸田	208	190	200	158	195
穀田	447	406	409	442	430
大童	224	180	182	203	203
今泉	203	207	185	178	197
大隼	224	205	189	205	221
石積	242	212	192	194	211
明石	352	508	992	947	660
明石	632	471	396	418	476
西成田	470	355	379	379	398
東向陽台1丁目	3,018	2,314	1,867	2,023	2,152
東向陽台2丁目	3,963	3,027	2,393	2,631	2,758
東向陽台3丁目	3,301	2,579	2,091	2,154	2,268
あけの平1丁目	2,110	1,501	1,245	1,245	1,706
あけの平2丁目	1,671	1,143	990	1,128	1,347
あけの平3丁目	1,504	942	1,046	1,059	1,202
ひより台1丁目	1,947	1,742	1,757	1,757	1,768
ひより台2丁目	1,714	1,442	1,417	1,462	1,394
日吉台1丁目	3,717	2,493	1,880	2,189	2,545
日吉台2丁目	3,154	2,501	2,067	1,950	2,716
日吉台3丁目	3,219	2,544	2,189	2,207	2,704
明石台1丁目	3,208	2,411	1,952	2,066	2,206
明石台2丁目	3,773	2,964	2,602	2,636	3,007
明石台3丁目	3,946	3,128	3,044	3,141	3,407
明石台4丁目	2,435	2,435	3,115	3,234	2,935
明石台5丁目	2,900	2,225	2,450	2,534	2,487
明石台6丁目	2,778	1,985	1,761	1,774	2,038
明石台7丁目	2,250	1,578	1,356	1,350	1,558
明石台8丁目	3,187	2,538	1,938	2,219	2,364
明石台9丁目	1,264	874	814	710	944
成田1丁目	1,427	1,292	1,692	1,824	1,852
成田2丁目	927	1,210	1,403	1,525	1,522
成田3丁目	2,296	1,772	2,500	2,641	2,617
成田4丁目	3,233	2,214	2,670	2,645	2,795
成田5丁目	3,132	2,077	2,198	2,272	2,420
成田6丁目	2,769	1,697	1,400	1,594	1,633
成田7丁目	2,079	1,231	1,117	1,073	1,306
成田8丁目	1,269	952	1,075	1,146	1,031
成田9丁目	771	1,012	1,532	1,608	1,294
とちの木1丁目	1,537	1,078	793	876	1,009
とちの木2丁目	1,103	767	592	627	708
上桜木1丁目	1,761	1,781	2,901	2,871	2,535
上桜木2丁目	1,525	1,704	2,875	2,896	2,523
杜乃橋1丁目	2,572	1,861	1,689	1,564	1,900
杜乃橋2丁目	1,519	1,169	937	963	1,016
大清水1丁目	2,001	1,588	1,886	1,895	1,971
大清水2丁目	1,414	1,533	2,178	2,212	2,055

資料：モバイル空間統計（NTT ドコモ）

<仙台市民の町丁字別滞留人口（15～79歳）2017年10月18日（水）>

仙台市居住者が富谷市内を訪れた際の滞留先をみると、主に市内の南部地域に多くの人が滞留していることがうかがえます。

※仙台市民のみ



注) 200名以上の地区については数値を計上

資料：モバイル空間統計（NTTドコモ）

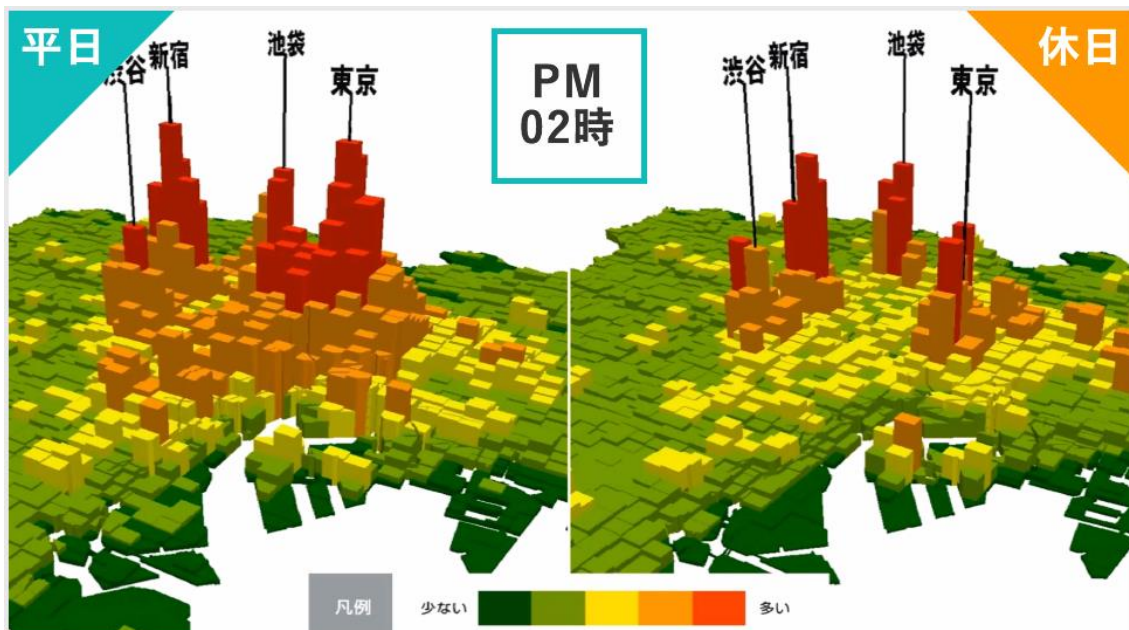
参考：モバイル空間統計（人口分布統計）

モバイル空間統計とは、NTT ドコモの携帯電話ネットワークのしくみ（携帯基地局運用データ）を使用して作成される人口の統計情報である。1時間ごとの人口を、24時間365日把握することが可能である。

<モバイル空間統計（人口分布統計）のデータ諸元>

項目	諸元
調査対象	NTT ドコモの携帯電話約 7,600 万台（法人名義は除く）
調査日	365 日いつでも
調査地域	日本全国
属性	性別・年齢別（15歳～79歳）・居住地別
時間解像度	時間単位
空間解像度	任意（500m メッシュを基本）

<モバイル空間統計（人口分布統計）の分析イメージ>



出典：NTT ドコモ ウェブサイト

富谷市民（15歳以上）の自宅外就業者・通学者のうち、市外に通勤・通学する人の利用交通手段割合は「自家用車」が66.5%と最も高くなっています。

一方、鉄道、乗合バス等の公共交通利用手段割合は、合計で17.8%となっています。

＜富谷市に常住する15歳以上自宅外就業者・通学者数＞

利用交通手段	総数			利用交通手段割合		
	町内外計	町内で 従業・通学	町外で 従業・通学	町内外計	町内で 従業・通学	町外で 従業・通学
徒歩だけ	876	792	84	3.7%	15.1%	0.5%
鉄道	184	3	181	0.8%	0.1%	1.0%
乗合バス	750	94	656	3.2%	1.8%	3.6%
勤め先・学校のバス	192	13	179	0.8%	0.2%	1.0%
自家用車	15,452	3,279	12,173	65.7%	62.6%	66.5%
ハイヤー・タクシー	1	0	1	0.0%	0.0%	0.0%
オートバイ	513	75	438	2.2%	1.4%	2.4%
自転車	1,485	680	805	6.3%	13.0%	4.4%
その他	339	69	270	1.4%	1.3%	1.5%
鉄道及び乗合バス	1,932	12	1,920	8.2%	0.2%	10.5%
鉄道及び勤め先・学校のバス	5	0	5	0.0%	0.0%	0.0%
鉄道及び自家用車	517	8	509	2.2%	0.2%	2.8%
鉄道及びオートバイ	65	0	65	0.3%	0.0%	0.4%
鉄道及び自転車	83	0	83	0.4%	0.0%	0.5%
その他利用交通手段が2種類	554	126	428	2.4%	2.4%	2.3%
利用交通手段が3種類以上	365	17	348	1.6%	0.3%	1.9%
不詳	218	71	147	0.9%	1.4%	0.8%
総数(利用交通手段)	23,531	5,239	18,292	100%	100%	100%

出典：平成22年国勢調査

県内他市町村に常住し、富谷市に通勤・通学する15歳以上自宅外就業者・通学者数の利用交通手段割合をみると、「自家用車」が81.5%と最も高くなっています。

一方、鉄道、乗合バス等の公共交通利用手段割合は、合計で5.0%です。

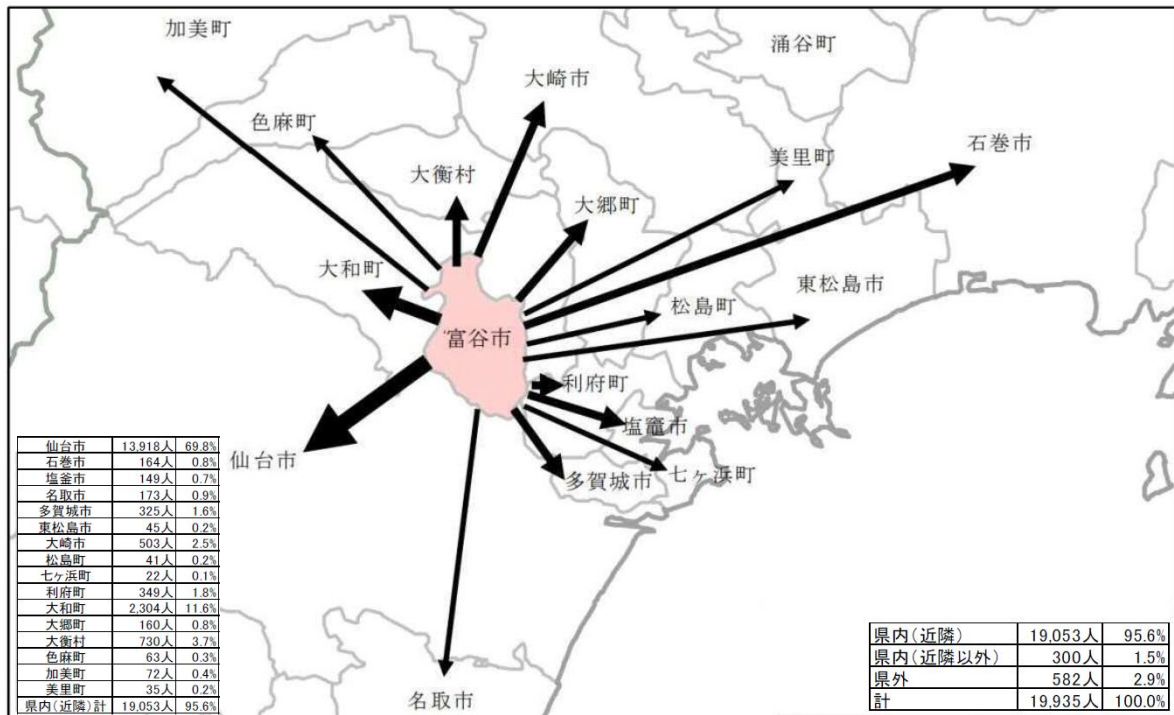
＜県内他市町村に常住し、富谷市で従業・通学する15歳以上自宅外就業者・通学者数＞

利用交通手段	総数	利用交通手段割合
徒歩だけ	40	0.6%
鉄道	19	0.3%
乗合バス	156	2.2%
勤め先・学校のバス	61	0.9%
自家用車	5,814	81.5%
ハイヤー・タクシー	1	0.0%
オートバイ	87	1.2%
自転車	353	4.9%
その他	70	1.0%
鉄道及び乗合バス	106	1.5%
鉄道及び勤め先・学校のバス	87	1.2%
鉄道及び自家用車	7	0.1%
鉄道及びオートバイ	3	0.0%
鉄道及び自転車	1	0.0%
その他利用交通手段が2種類	188	2.6%
利用交通手段が3種類以上	97	1.4%
不詳	42	0.6%
総数(利用交通手段)	7,132	100%

出典：平成22年国勢調査

富谷市民（15歳以上）の自宅外就業者・通学者数をみると、他市町村に通勤・通学している人数は19,935人であり、その内仙台市が13,918人（69.8%）となっています。一方、市内で従業・通学している人数は6,761人（33.9%）であり、富谷市民の多くが他市町村で従業・通学しています。

＜他市町村で従業・通学する15歳以上就業者・通学者数＞

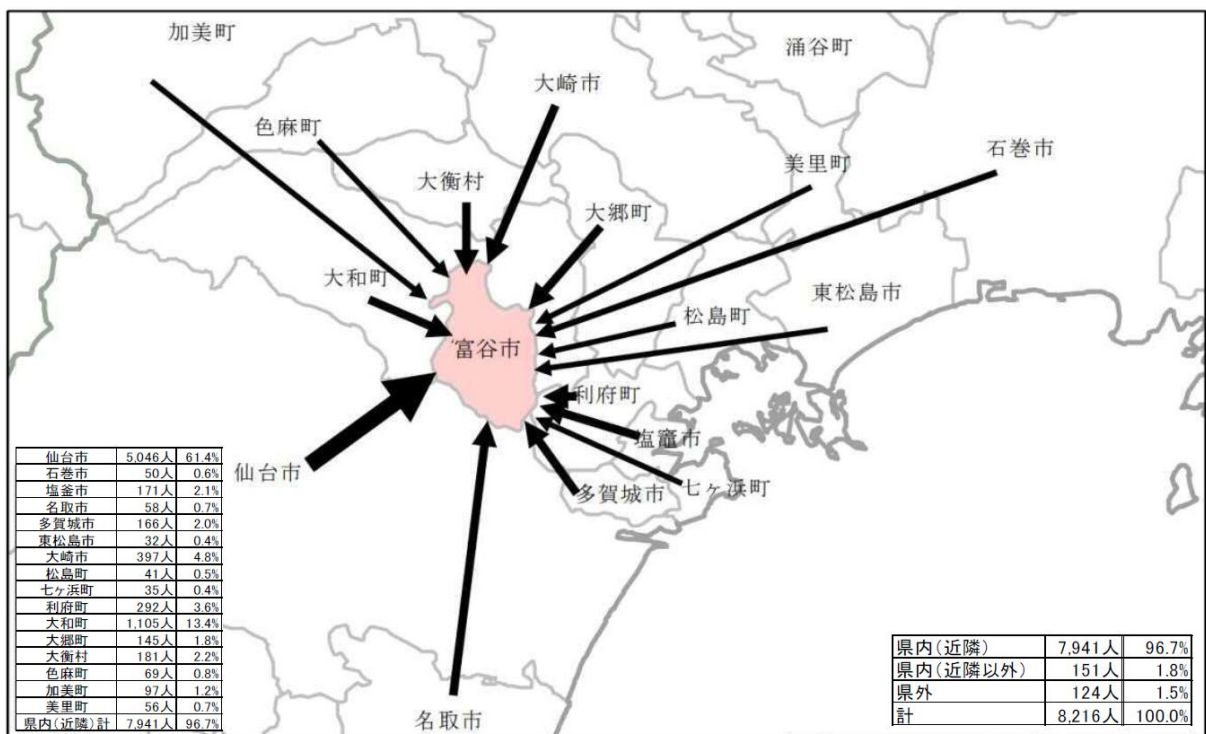


	合計	15歳以上就業者	15歳以上通学者
他市町村で従業・通学	19,935	17,659	2,276
仙台市で従業・通学	13,918	12,091	1,827
うち青葉区	4,678	4,027	651
うち泉区	5,687	4,854	833
大和町で従業・通学	2,304	2,119	185
大衡村で従業・通学	730	730	0
市内（自宅外）で従業・通学	6,761	5,824	937

出典：平成27年国勢調査

富谷市で従業・通学する15歳以上就業者・通学者の常住地をみると、他市町村常住者が8,216人、市内常住者が8,212人であり、おおよそ半数は他市町村常住者の人が占めています。

＜富谷市で従業・通学する15歳以上就業者・通学者＞



	合計	15歳以上就業者	15歳以上通学者
他市町村に常住	8,216	7,770	446
仙台市に常住	5,046	4,682	364
うち青葉区	803	775	28
うち泉区	3,259	2,937	322
大和町に常住	1,105	1,050	55
大衡村に常住	181	166	15
市内に常住	8,212	7,275	937

出典：平成27年国勢調査

④ 商圈

富谷市の居住者の買物先割合をみると、富谷市内が59.8%と最も高く、次いで仙台市泉区の32.1%となっています。

また、周辺町村居住者の買物先をみると、大和町の38.5%、大郷町の21.5%、大衡村の28.4%を富谷市が吸引しており、黒川郡2町1村の中心商業核となっています。

＜富谷市居住者の買物先（上位5市区町村）＞

買物先	買物先割合
富谷市内	59.8%
仙台市泉区	32.1%
仙台市青葉区	2.9%
大和町	0.8%
仙台市太白区	0.5%

資料：宮城県の商圈 消費購買動向調査報告書、平成25年3月

＜周辺町村居住者の富谷市への買物の割合＞

居住地	富谷市への買物の割合
大和町	38.5%
大衡村	28.4%
大郷町	21.5%

資料：宮城県の商圈 消費購買動向調査報告書、平成25年3月

1-2 富谷市の交通の現状

(1) 公共交通

本市における主な公共交通機関は、路線バスが主に市内各地と仙台市方面とを結ぶ路線を、市民バスが市内各地と市役所を結ぶ路線や、隣接する大和町バスターミナルまで運行しており、市街地部はバス路線網が密に形成されています。

なお、一部区間において、大型商業店が運行する無料送迎バスがあり、利用者の移動目的によって利用する交通手段が選択されています。

仙台市方面への公共交通の手段としては、路線バスやタクシー等で泉中央駅までアクセスすることとなり、後述の道路混雑の影響を受け速達性や定時性に支障が生じている場合もあり、特に積雪時などには泉中央駅へたどりつくまでに、市内から1時間以上を要すこともあります。

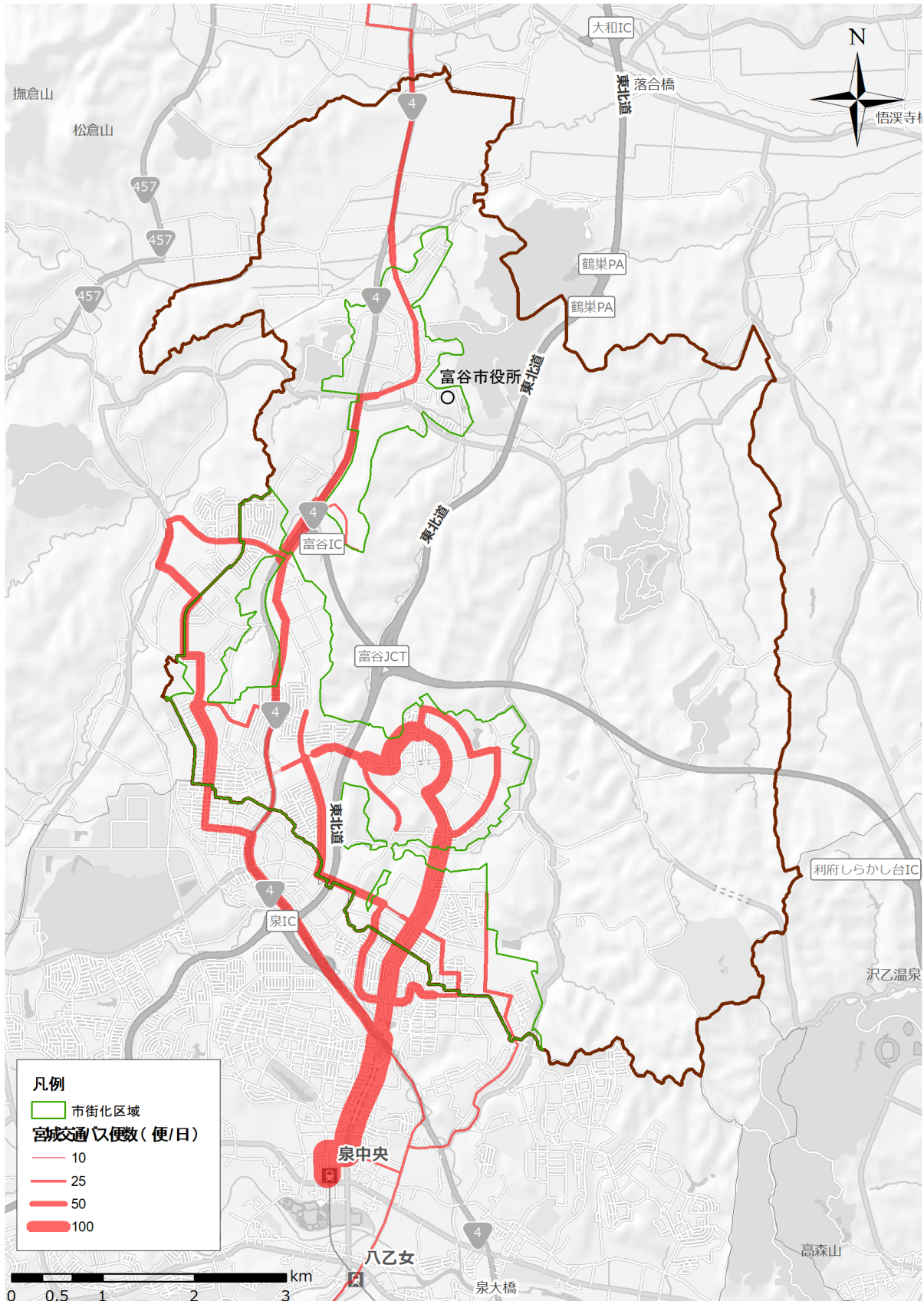
また、昼間時の運行本数が少ない路線、終発時刻の早い路線も存在しています。一方で、車社会の進展により路線バスの利用者は年々減少傾向にあり、深刻な運転士不足も相まって公共交通をとりまく環境は厳しさを増しております。

＜終日路線バス便数（宮城交通・ミヤコーバス）＞

系統番号	路線名	経由地	バス便数(便/日)			
			平日		土曜・休日	
			往路	復路	往路	復路
21	泉ヶ丘大富	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅-泉ヶ丘-パルタウン大富-富谷営業所	29	25	23	24
22	南富谷サニータウン	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅-泉ヶ丘-鷹乃杜北-南富谷サニータウン	14	14	10	9
23	新富谷ガーデンシティ	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅-内回り-新富谷ガーデンシティ/イオン富谷店	25	24	11	11
24	新富谷ガーデンシティ	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅-外回り-新富谷ガーデンシティ	31	35	13	15
25	新富谷ガーデンシティ	泉中央駅-内回り-富谷高校-吉岡	3	3	4	0
26	上桜木大清水	泉中央駅-サニーハイター大清水(イオン富谷店)	22	19	15	14
27	上桜木大清水	泉中央駅-明石南三丁目-大清水(イオン富谷店)	15	19	13	15
30	東向陽台	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅-七北田新町(バイパス入口)-明石台七丁目	16	20	9	11
39	泉鶴が丘	吉岡→鷹乃杜北→鶴が丘ニュータウン	1	0	0	0
45	吉岡	泉中央駅-あけの平-吉岡	18	18	15	16
46	吉岡	泉中央駅-あけの平-吉岡-黒川高校前				

資料：宮城交通(株)

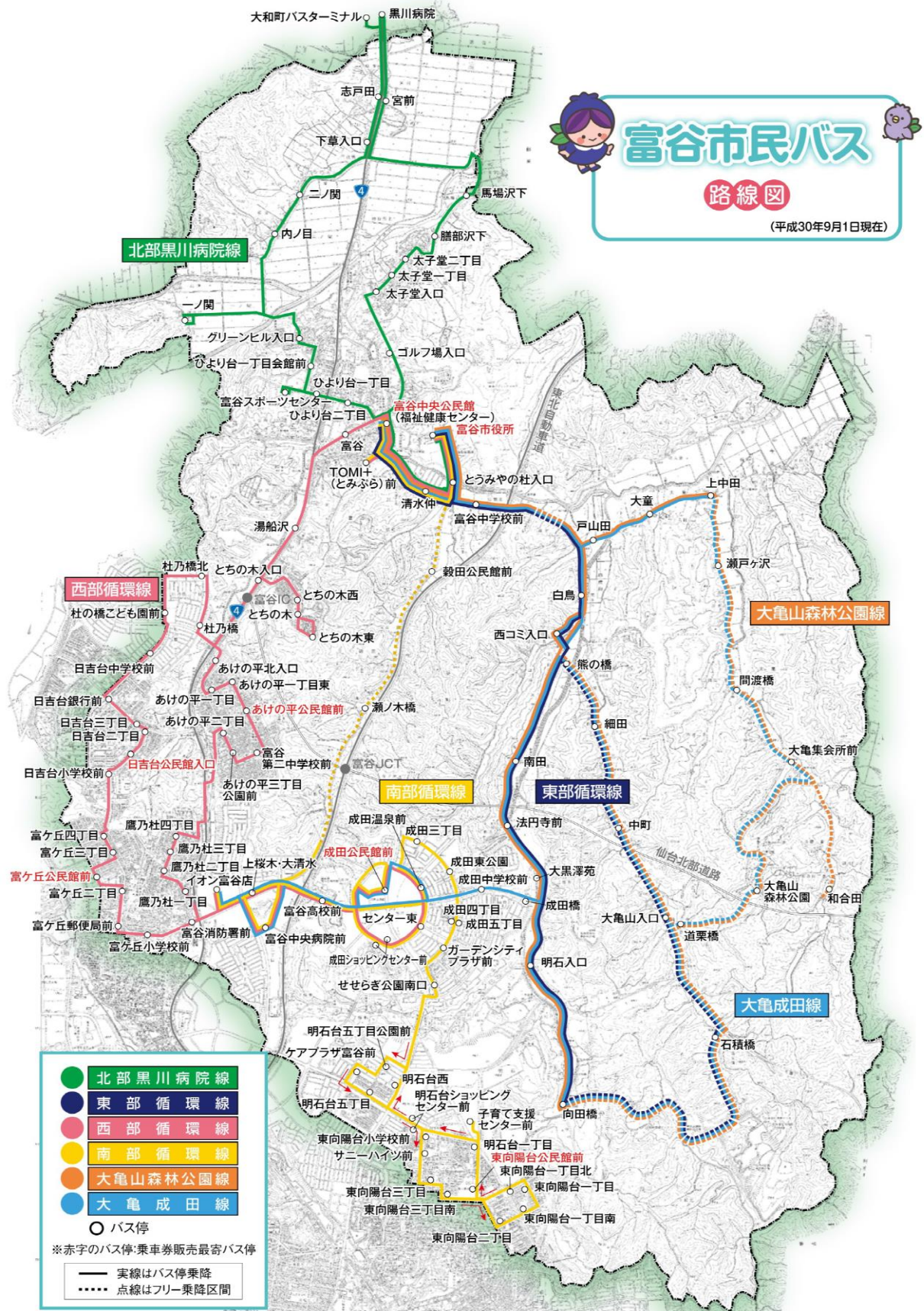
< 区間別の終日路線バス便数（宮城交通・ミヤコーバス） >



注) 区間ごとのバスの通過本数を計上
平日の運行本数(平成30年4月1日現在)

資料: 宮城交通(株)

<バス路線図（富谷市民バス）【平成30年9月現在】>



出典：富谷市ホームページ

< 市民バス運行本数 >

(平成 30 年 9 月 1 日現在)

路線名	主な行先	一日当たりの運行便数
北部黒川病院線	大和町役場、黒川病院、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田、ひより台、太子堂	8 便
東部循環線	原、西成田、石積、明石	3 便
西部循環線	とちの木、あけの平、鷹乃杜、富ヶ丘、日吉台、杜乃橋、上桜木、大清水地区	8 便
南部循環線	穀田、東向陽台、明石台、成田、上桜木、大清水	6 便
大亀山森林公園線	大亀山森林公園、原、西成田、大童、今泉、大亀	4 便
大亀田成田線	大亀山森林公園、石積、明石、成田、上桜木、大清水	2 便

注) 平日のみ 6 路線、1 日 31 便運行

出典：富谷市ホームページ

< 市民バス運賃 >

対象	料金
大人 (中学生以上)	100 円
小人 (小学生)	50 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 未就学児 ・ 70 歳以上の方 ・ 障がいをお持ちの方 (介護者の方 1 名含む) ・ 遠距離通学者等 (教育委員会が認めた小学生) ・ 運転免許証を返納した 60 歳以上の方 	無料

出典：富谷市ホームページ

< 市民バス利用状況 >

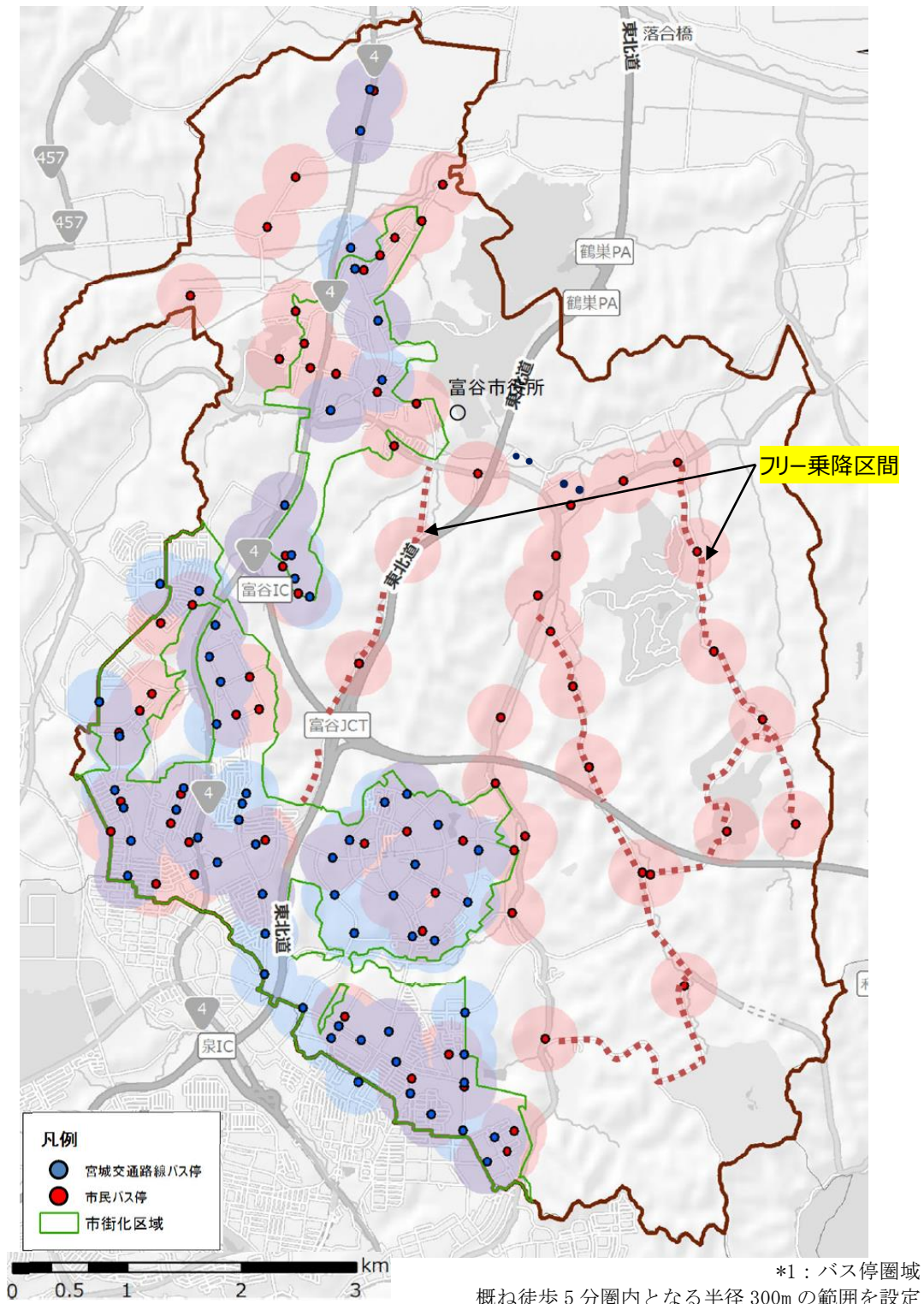


注) H14・15乗合バス環境改善検討調査試行業務期間 (無料)。土・日・祝日一部運行。

H16. 4から有料100円運行開始。土・日・祝日の一部運行終了。

H20. 7から70歳以上の高齢者、障がいをお持ちの方を対象に無料乗車証の交付を開始。

＜バス停留所からの300mの範囲（バス停圏域*1）＞



＜バス停圏域 300mにおけるカバー率＞

種別	市全域（面積 49.18 km ² ）		市街化区域（面積 11.2 km ² ）	
	カバー面積	カバー率	カバー面積	カバー率
路線バス	10.77km ²	21.9%	8.50km ²	75.9%
市民バス	18.39km ²	37.4%	8.70km ²	77.7%
路線バス+市民バス	20.65km ²	42.0%	9.68km ²	86.5%

注) カバー面積にフリー区間は含まない

(2) 自動車

市内の市街地が南北方向に分布していることもあり、市街地と仙台市方面とを結ぶ主な幹線道路は国道4号と、(都)*¹七北田西成田幹線の2路線に限定(いずれも4車線道路)されています。

市外への通勤・通学の移動についてはマイカー利用が約67%と多くを占め、マイカーへの依存が強い状況にあることから、通勤時間帯には上記の路線に交通が集中し慢性的な混雑が発生しています。(前節に示した人口動態からみると、朝の時間帯に11,000人程度が富谷市から仙台市方面に移動していることがうかがえ、上記の2路線だけでは交通容量が著しく不足していると推定されます。【人口動態の分析の詳細化に合わせて、客観的な数値を記載】)

仙台市域の将監トンネル付近においても渋滞が顕著であり、仙台都市圏の地域中心核に位置づけられる泉中央方面へのアクセス性を低下させる要因となっています。

また、交通渋滞の発生は、追突事故などの交通事故を誘発する要因となるとともに、騒音や大気汚染など沿道環境を悪化させたり、地球温暖化の要因の一つであるCO₂の排出により地球環境を悪化させる要因となるなど、種々の問題の要因となることが懸念されます。

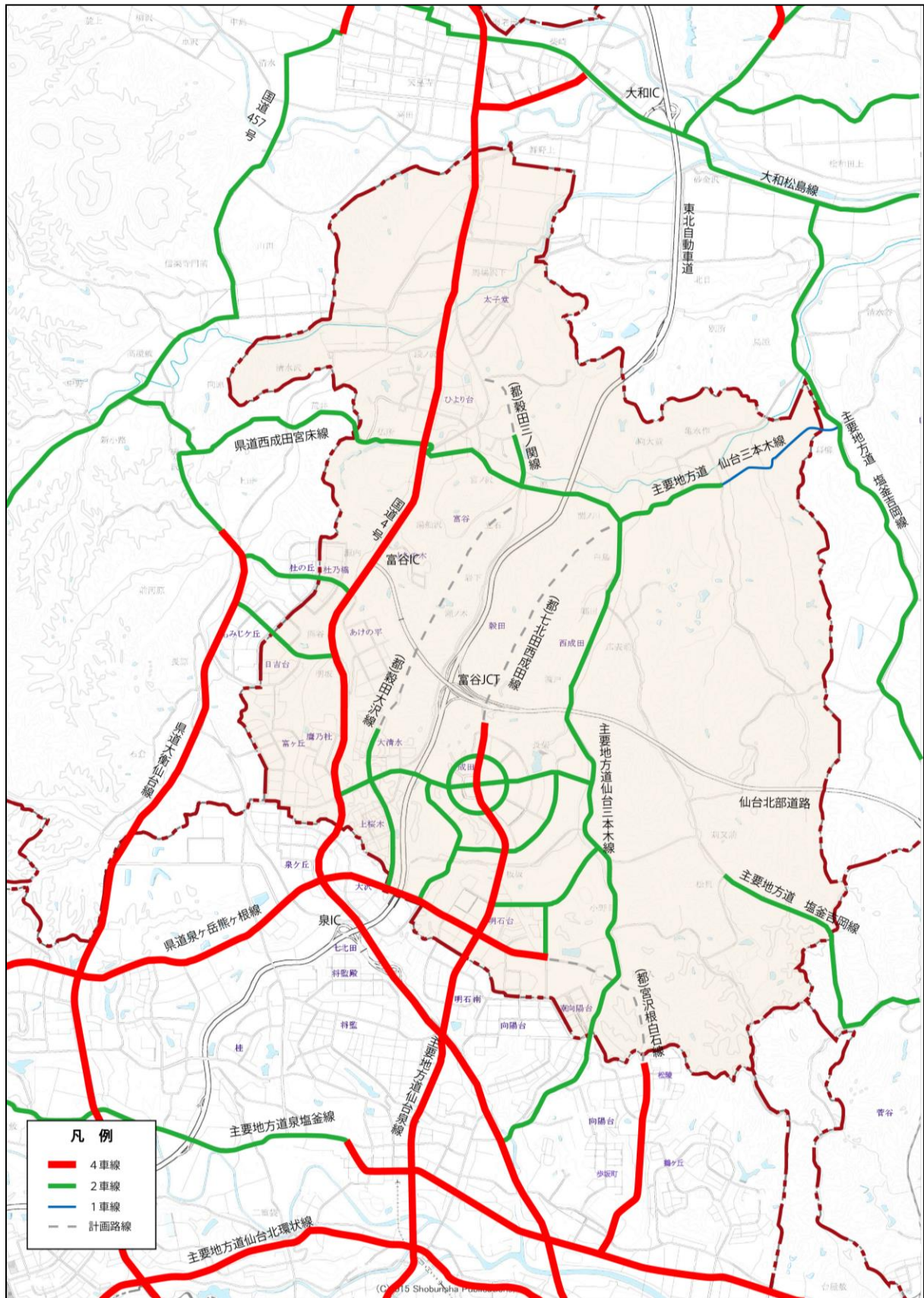
*1：(都)

都市計画道路。良好な市街地環境を整備する都市計画と一体となって整備される道路。

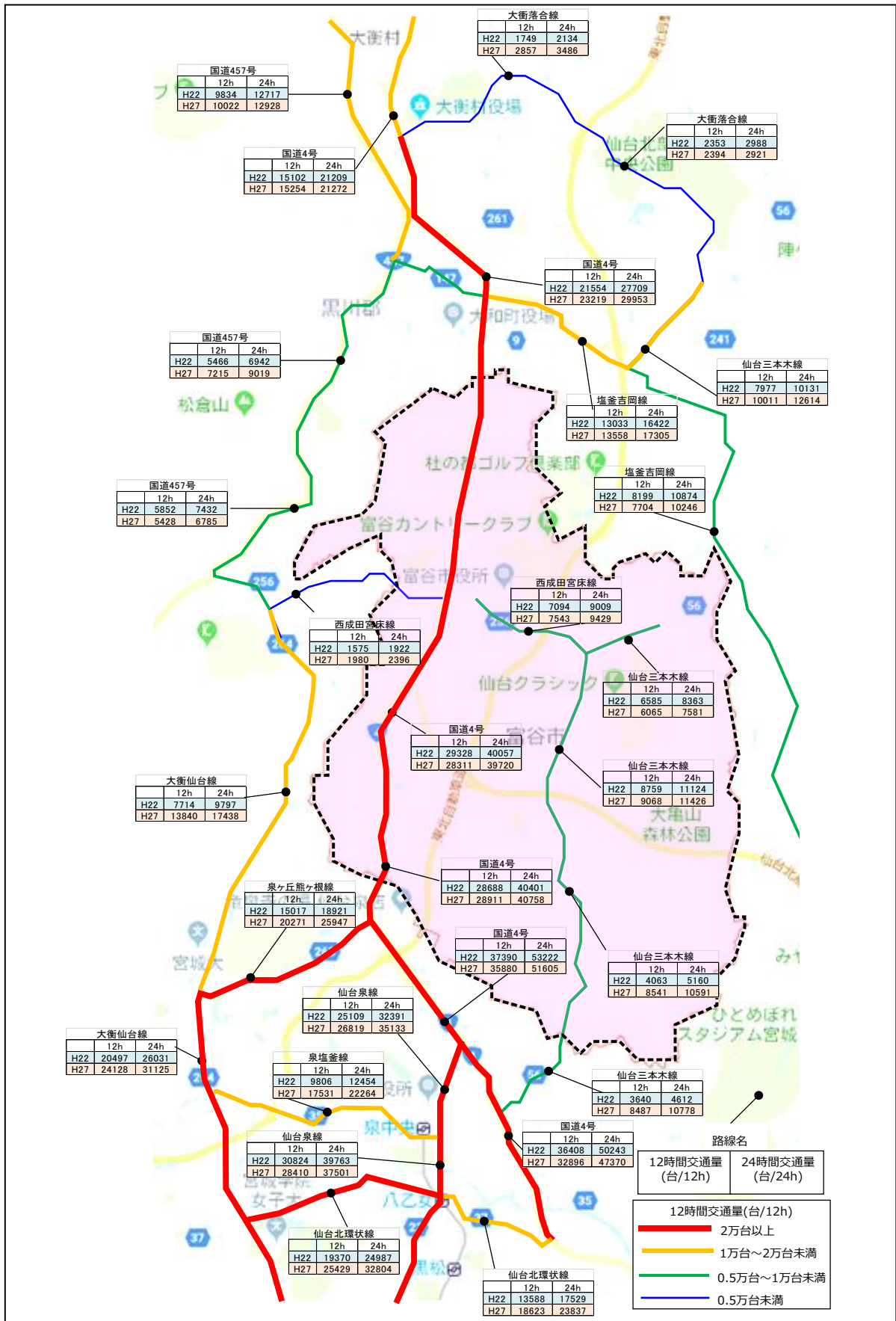
注) マイカー利用約67%

H22 国勢調査結果による、富谷市民(15歳以上)の市外に通勤・通学する方の利用交通手段の割合で今後、更新を予定。

＜富谷市内の都市計画道路及び一般国道、主要地方道・県道の車線数＞

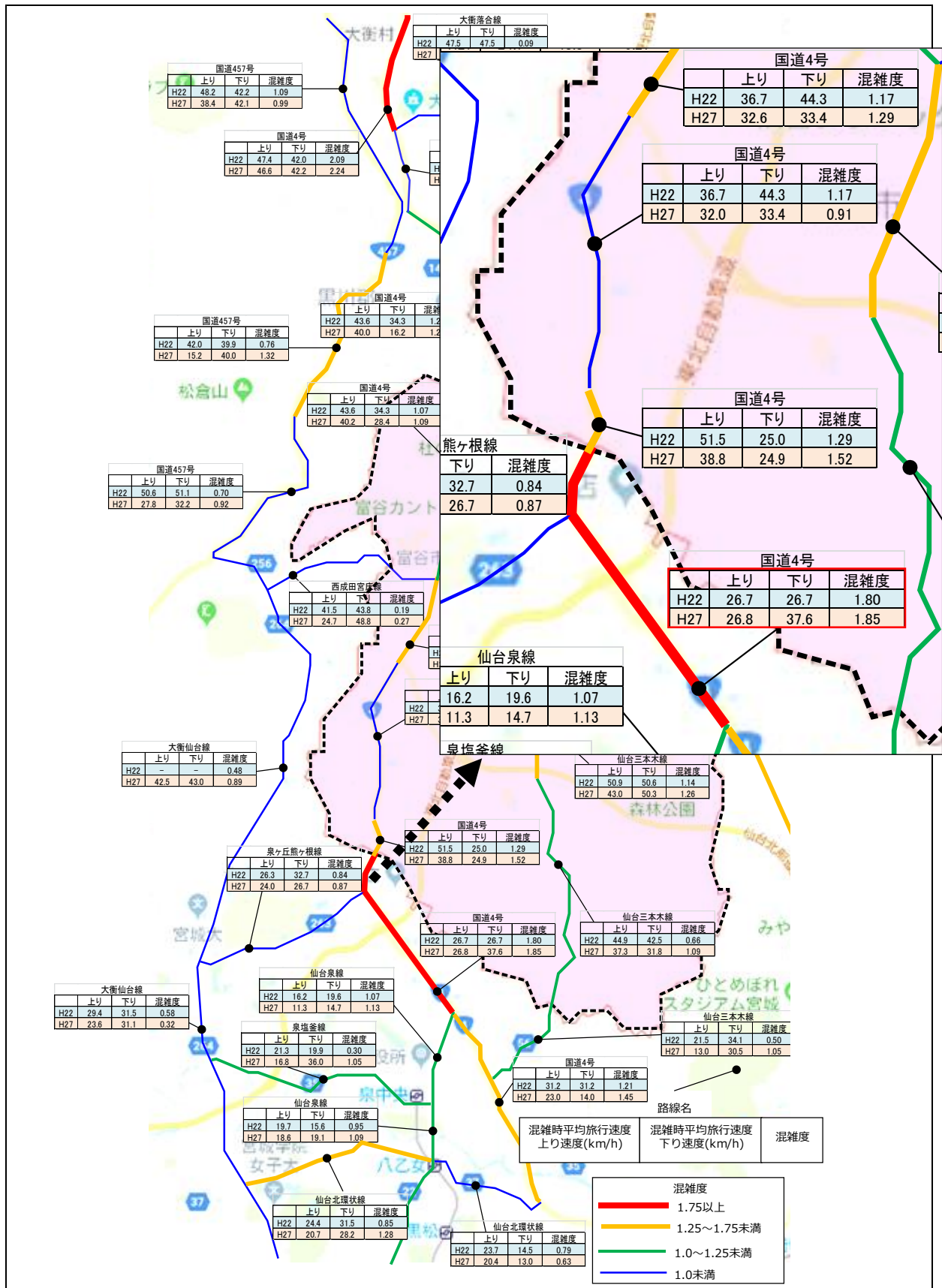


＜富谷市周辺道路（一般国道・主要地方道及び県道）の交通量＞



資料：平成 27 全国道路・街路交通情勢調査、平成 22 年道路交通センサス

＜富谷市周辺道路（一般国道・主要地方道及び県道）の混雑度・平均旅行速度＞

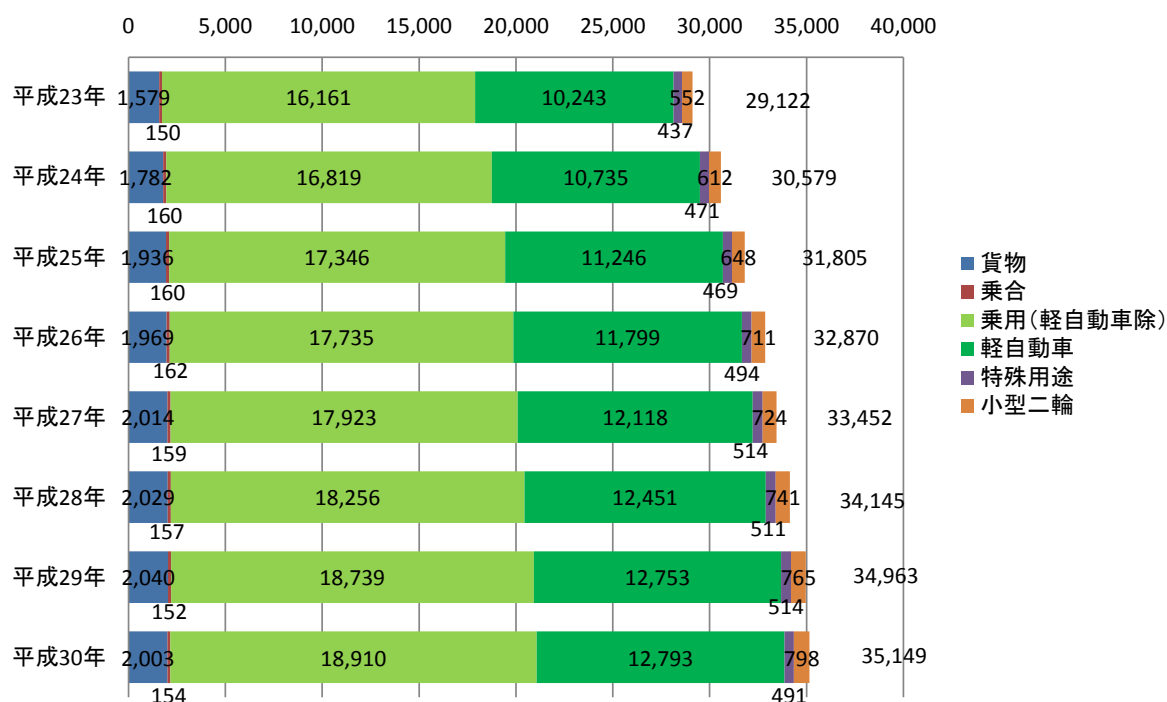


資料：平成 27 全国道路・街路交通情勢調査、平成 22 年道路交通センサス

富谷市の自動車保有台数は、平成23年時点で29,122台であったのが、平成30年時点で、35,149台（1.20%増）と年々増加傾向にあります。

また、富谷市の運転免許保有者数は、平成29年12月末現在で35,642名おり、そのうち70歳以上の高齢者が3,218名と全体の9.03%を占めております。

＜自動車保有台数の推移＞



注) 各年3月末時点のデータ

出典: 東北運輸局宮城運輸支局 宮城県市町村別自動車保有台数調

○年齢層別運転免許保有者数

(平成30年12月末現在)

区分	合計	16～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳以上
富谷市	35,799	26,387	2,867	2,965	1,930	1,112	415	106	17
宮城県	1,546,701	1,070,921	135,425	144,166	96,276	57,808	30,276	10,254	1,575

出典: 宮城県警察

○年齢層別運転免許自主返納状況

(平成30年12月末現在)

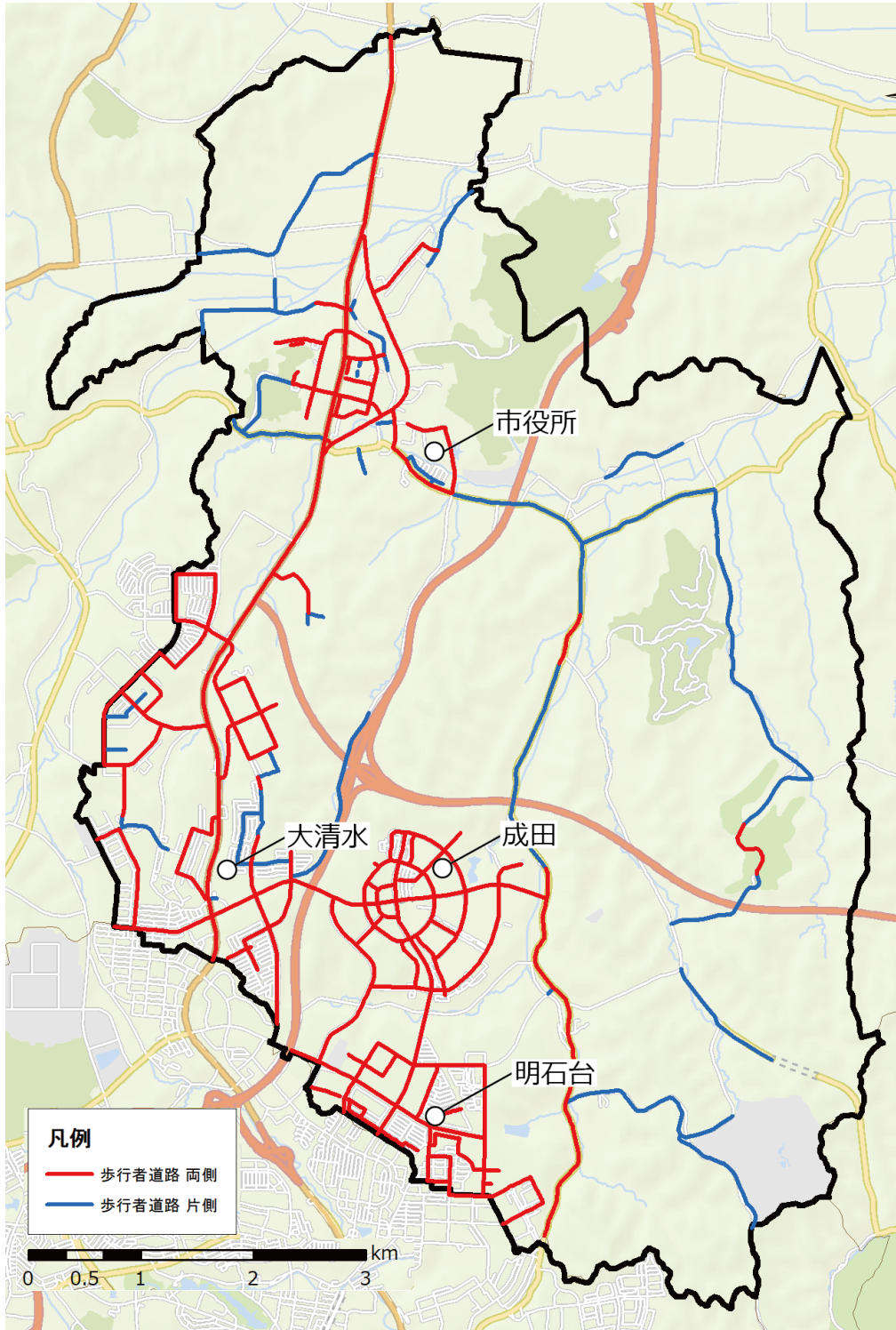
区分	合計	16～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳以上
富谷市	74	1	1	1	8	18	23	14	7	1
宮城県	5,572	71	84	109	376	935	1,379	1,515	847	256

出典: 宮城県警察

(3) 徒歩・自転車

市内の住宅団地などの主要な道路については歩道が整備されており、歩行環境は比較的整っています。一方で、自転車走行空間の整備は進んでおらず、歩車分離がされている道路では、歩道を走行する自転車も少なくありません。

＜富谷市周辺の歩行者道路の敷設状況＞



1-3 富谷市の交通の課題

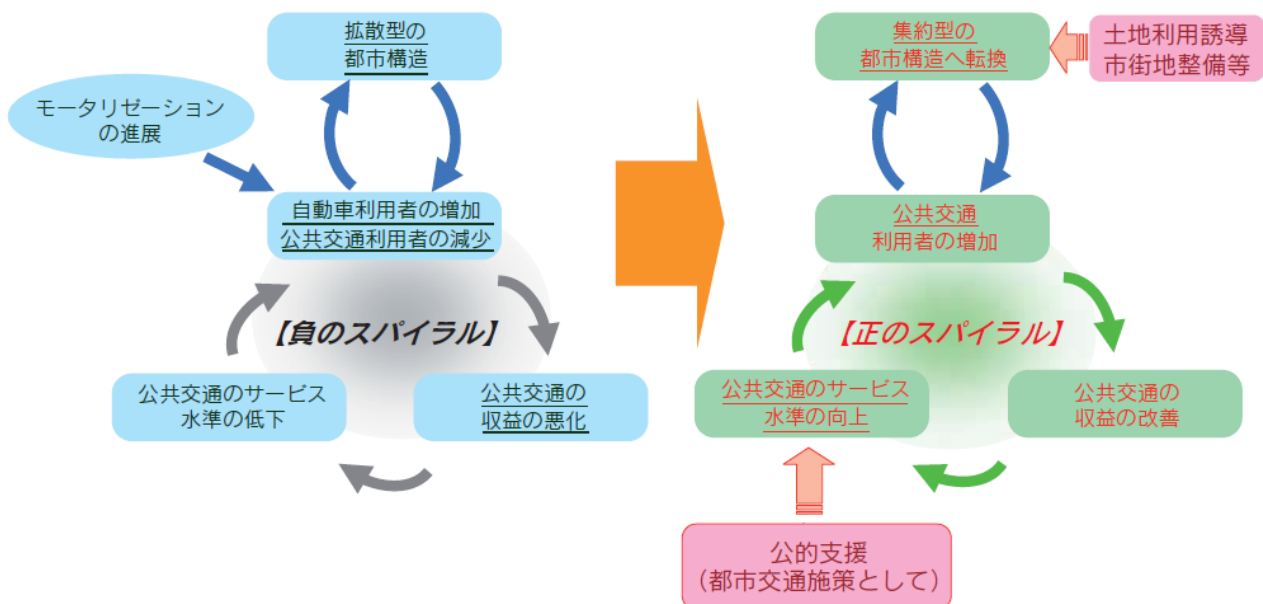
(1) 集約型市街地形成に向けた自動車依存型の交通体系からの脱却

マイカーの利用を前提とした市街地の拡大は、低密度な土地利用を広範囲に広げることとなり、その結果、都市インフラの整備・維持・管理にかかるコストを増大させることとなります。その結果、市の財政的な余力が低下し、市民サービスの質が低下するということも生じかねません。また、マイカー交通への過度な依存は、渋滞や事故、環境悪化など種々の問題の悪化を招く懸念があります。

公共交通はこうした問題を改善する交通手段として大きな期待が寄せられます。しかしながら、利用者の減少や、バス運転士の不足など、公共交通をとりまく環境も厳しい状況にあります。

このため、過度にマイカーに依存する必要のない利便性が高く、環境負荷の小さい地域を形成することのできる交通体系を形成することが必要となり、そのためには、公共交通が持続可能となるよう、地域で支えることが重要になります。

<公共交通の整備と集約型都市構造の実現のシナリオ>



資料：国土交通省

(2) 高齢化社会を支える選択性の高い交通体系の実現

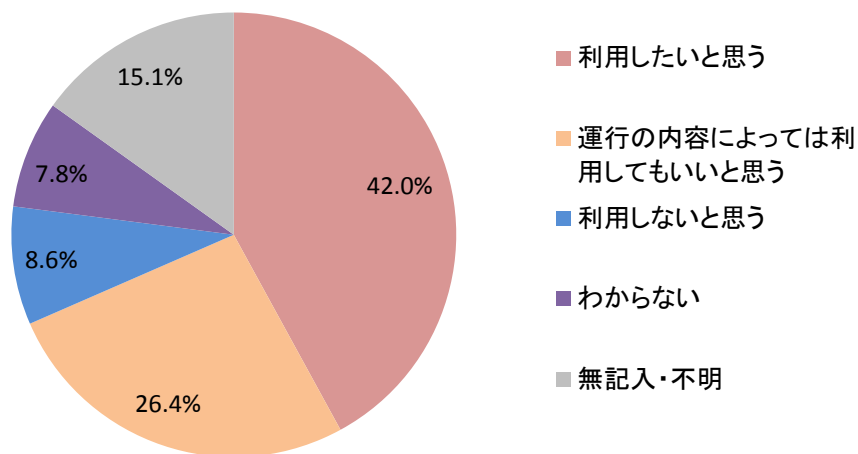
現状では県内一低い高齢化の水準にある富谷市においても、子育て層の老齢化にともなうて確実に高齢社会が到来することが見込まれます。

しかしながら、現在の過度にマイカー交通に依存した交通体系は、ドライバーの高齢化・運動能力の低下にともなうて、移動手段を失う人々が増加する可能性があり、決して高齢者が移動しやすい環境にあるとは言えません。もしこの状態が将来にわたって継続すると、本格的な高齢化が訪れた際には、住みづらいまちへと変貌してしまう懸念があります。

現在、富谷市は本格的な高齢化社会が訪れるまでにまだ時間的な猶予を残していることから、この猶予を活かし、先行して高齢化に対応した交通体系整備を進めている先進事例に学びながら、高齢化社会に対応可能な交通体系の整備に早期に着手することにより、高齢者にとっても魅力のあるまちへと成長することが望まれます。

<公共交通の利便性向上による市民の利用意向（私用目的）>

設問：泉中央駅までのバスの運行本数が増えるなど使いやすくなったり、その他の公共交通が整備された場合、あなたは私用目的で利用したいと思いますか



項目	件数	割合
利用したいと思う	1,507	42.0%
運行の内容によっては利用してもいいと思う	947	26.4%
利用しないと思う	308	8.6%
わからない	281	7.8%
無記入・不明	542	15.1%
計	3,585	100.0%

出典：平成29年度公共交通軸形成に向けた検討調査業務 報告書

(3) 多核連携型の都市圏構想実現を支援する都市間交通軸の強化

仙塩都市圏^{*1}のうち、東部（多賀城市、塩釜市等）と南部（名取市、岩沼市）は中央部である仙台市都心と広域的な道路軸および鉄道軸で結ばれています。

これに対し、富谷市を含む仙塩都市圏北部については、地域内の拠点である大清水・成田地区や富谷市中心部と泉中央をはじめとする仙台市方面、都市圏北部の大和町、大衡村方面との間の連絡はマイカー交通が主体で公共交通による接続は既存体系の路線バスでは十分とは言い難い状況にあります。

このため、多核連携型^{*2}の都市圏構造の実現に向け、仙台都市圏北部地域の拠点間連携の強化および泉中央地区の拠点性の向上を支えるため、都市圏北部の拠点間を連結する交通基盤の強化が不可欠となります。

*1：仙塩都市圏（6市4町1村）

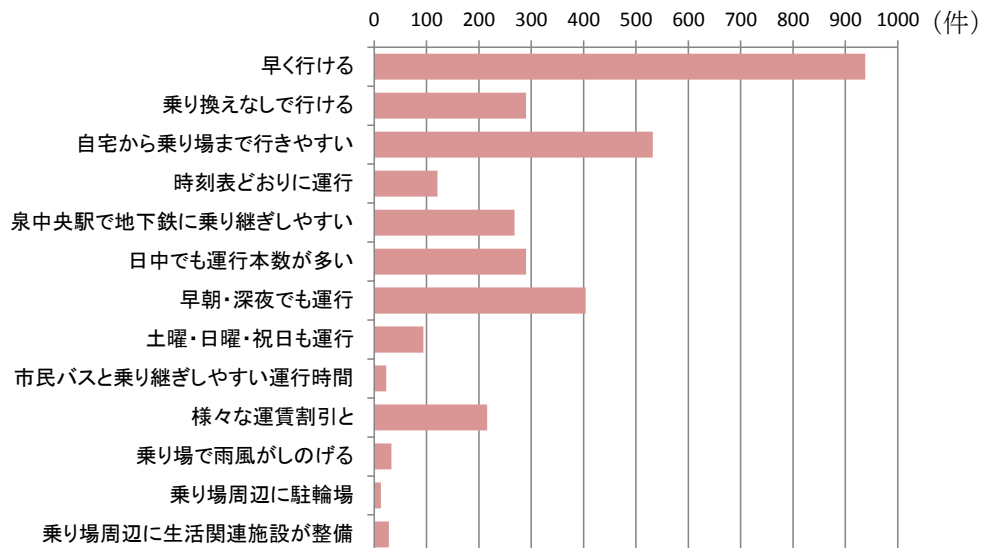
仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大衡村

*2：多核連携型

点在する多様な拠点間が有機的に連携することで都市機能を維持・強化する構造

<公共交通の整備に対する市民のニーズ>

設問：泉中央駅までバスやその他の公共交通を整備する場合に、もっとも重要だと思うこと



出典：平成29年度 富谷市公共交通軸形成に向けた検討調査業務 報告書

